

目次

1. 概要.....	5
1.1. 耐衝撃機能.....	6
1.2. 放熱設計.....	6
1.3. パッケージ内容.....	7
1.4. 最小システム要件.....	8
1.5. 製品の外観.....	9
1.5.1. 上面/正面図.....	9
1.5.2. ドライブ モード LED の動作.....	9
1.5.3. 背面図.....	9
1.6. ケーブルとコネクタ.....	10
1.6.1. USB ケーブルとコネクタ.....	10
1.6.2. FireWire 接続.....	10
2. LaCie Rugged Safe をインストールする前に.....	11
2.1. 指紋センサーの使用法.....	11
2.2. 管理者の権限.....	12
2.3. 認証ユーザーおよび権限.....	12
3. LaCie Rugged Safe の接続.....	13
3.1. インタフェース ケーブルの接続.....	14
3.1.1. 接続: LaCie Safe Manager のインストール.....	14
3.1.2. 接続: ポート.....	14
3.2. 複数のデバイスの接続.....	16
3.3. オプションの電力共有ケーブルを接続する (USB).....	17
3.4. LaCie Safe Manager ソフトウェアのインストールおよび実行.....	18
3.4.1. Windows をご使用の方.....	18
3.4.2. Mac をご使用の方.....	20
3.5. ハード ディスクの取り外し.....	21
3.6. インタフェースの切り換え.....	22
4. LaCie Rugged Safe のセットアップ.....	23
4.1. ステップ 1: 最初のユーザーの登録.....	24
4.2. ステップ 2: 最初のユーザーの指紋の登録.....	25
5. LaCie Rugged Safe の使用.....	27
5.1. Rugged Safe のロック解除とロック.....	28
5.1.1. LaCie Safe Manager がインストールされている場合にディスクのロックを解除する.....	28
5.1.2. LaCie Safe Manager がインストールされていない場合にディスクのロックを解除する.....	29
5.1.3. ディスクのロック.....	30
5.2. Rugged Safe の管理.....	31
5.2.1. Rugged Safe の [Administration (管理)] ページへのアクセス.....	31

■ ご注意 ■

日本市場でのLaCie商品販売はエレコム株式会社が行っております。

LaCie製品は海外でも幅広く販売されており、LaCie社が管理・運営するグローバル
[サイト](#)、[Webリンク先](#)の情報、商品、ソフトウェア、サービス等は、日本市場で取り
扱いの無い、またはサポート対象外のものも含まれます。あらかじめご了承ください。

5.2.2. [Administration (管理)] ページ	33
5.2.3. 管理権限の付与 (管理者のみ)	35
5.2.4. ユーザーの削除 (管理者のみ)	35
5.2.5. ディスクの再初期化 (管理者のみ)	36
5.3. LaCie Safe Manager の起動設定	37
6. LaCie Rugged Safe のフォーマット	38
6.1. Rugged Safe の 1 つのパーティション	38
6.2. LaCie Rugged Safe のフォーマット	39
6.2.1. Windows XP をご使用の方	39
6.2.2. Windows Vista および Windows 7 をご使用の方	42
6.2.3. Mac をご使用の方	46
7. よくある質問 (FAQ)	48
8. トラブルシューティング	50
8.1. ハード ディスクのトラブルシューティング	50
8.1.1. Mac をご使用の方	50
8.1.2. Windows をご使用の方	52
8.2. 指紋センサーのトラブルシューティング	55
9. カスタマ サポートへのお問い合わせ	56
9.1. LaCie テクニカル サポートの連絡先	57
10. 保証について	58

著作権

Copyright © 2010 LaCie. All rights reserved. 電子、機械、コピー、記録など、様式や手段の如何を問わず、本書のいかなる部分も当社の書面による事前の承諾なしに複製したり読み出しシステムに保存したり、伝送を行うことを禁じます。

商標

Apple、Mac および Macintosh は、Apple Inc. の登録商標であり、Microsoft、Windows 98、Windows 98 SE、Windows 2000、Windows Millennium Edition、Windows XP、Windows Vista、および Windows 7 は、Microsoft Corporation の登録商標です。本マニュアルに記載されているその他の商標は、関連各社に帰属します。

変更について

本書で使用する資料は参考として提供されており、予告なく変更することがあります。本書の作成にあたっては正確さを期していますが、本書に掲載された情報の誤謬または記載漏れに起因する、あるいは本書に記載する情報を利用した結果により生じる損害に対して、当社は一切の責任を負いません。当社は、無条件で製品の設計または製品マニュアルの変更や改訂を予告なく実施する権利を有します。

カナダ適合規定

本クラス A デジタル機器は、カナダ干渉発生機器規定 (Canadian Interference-Causing Equipment Regulations) のすべての要件を満たしています。

FCC Statement



本装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は次の条件に基づきます。

1. 本製品が有害な電波障害の原因となってはならない。
2. 本製品は誤動作の原因となる妨害を含め、受信する妨害を許容しなければならない。

注記: この装置は、FCC 規制のパート 15 に準拠したクラス B デジタルデバイスの制限値に適合していることを、試験により確認されています。これらの規制は、一般家庭で取り付けた場合に、有害な障害に対する適宜な保護を提供するために定められています。本機器は、無線周波数帯域のエネルギーを発生、使用し、これを放射する場合があります。また、本取扱説明書の指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉をもたらす場合があります。ただし、特定の設置方法において干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオ、テレビの受信に有害な干渉をもたらす場合 (これは本機器の電源のオン/オフにすることにより判断できます)、次の方法により干渉の解決を試行することをお勧めします。

- ◆ 受信アンテナの向き、または位置を変える。
- ◆ 本機器と受信機の距離を離す。
- ◆ 受信機が接続されているものとは異なる別系統のコンセントに、本機器を接続する。
- ◆ 販売代理店または経験豊かなラジオ/テレビ技術者に相談する。

LaCie の承認を受けずに本機器に変更または修正を加えると、FCC およびカナダ適合規定に違反し、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

CE 認証に関するメーカーの宣言

当社は、本機器が以下の欧州規格に準拠していることを明言します。クラス B EN60950、EN55022、EN55024、EN61000-3-2: 2000、EN61000-3-3: 2001

下記条件に関して: 73/23/EEC 低電圧指令、89/336/EEC EMC指令

注意: メーカーからの承認を受けずに本機器に変更または修正を加えた場合、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

注意: 本書に記載されている注意事項を遵守しないことによって生じた障害については、LaCie Rugged Safe の保証対象外となります。



本製品または梱包箱に示されたこの記号は、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならないことを意味します。電気・電子製品

廃棄物のリサイクルを行う所定回収場所に該当機器を持ち込んで処分することは、ユーザーの責任とします。他のゴミと分別して機器廃棄物の回収や再利用を行うことで、自然資源の保護に役立ち、人々の健康や環境を保護するような形でリサイクルできるようになります。機器廃棄物をリサイクルする際の回収場所に関する詳細は、お住まいの地方自治体の家庭廃棄物担当部署または本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

健康および安全上の注意

- ◆ 本製品の保守作業は、有資格者のみが行えます。
- ◆ 本製品の設定にあたっては、本ユーザー マニュアルを十分に読み、正しい手順に従ってください。
- ◆ ディスク ドライブを開けたり、分解または改造しないでください。感電、火災、ショート、有害な放出などの危険を避けるために、本製品に金属物を挿入しないでください。LaCie Rugged Safe に同梱されたディスク ドライブには、お客様ご自身で修理可能な部品は一切含まれていません。故障が見られる場合は、資格を有する LaCie テクニカル サポート 担当者に点検をご依頼ください。
- ◆ デバイスを雨に晒したり、水の近く、または湿気の多い場所、濡れた状態で使用しないでください。デバイスの上には、中に液体の入ったものを置かないでください。液体がこぼれ、装置の開口部分から液体が中に入る恐れがあります。これにより、感電、ショート、火災、けがなどの危険性が高まります。
- ◆ コンピュータおよびデバイスの電気アースが取られていることを確認してください。アースを取っていないと、感電の危険性が高くなります。電源要件は、100-240 V~, 4A, 60~50 Hz となって

います (過電圧カテゴリ II に従って、供給電源の変動範囲は公称、過渡過電圧の $\pm 10\%$ 以内に収まるようにしてください)。

一般的な使用上の注意

- ◆ 本製品は、温度 $5^{\circ}\text{C} \sim 35^{\circ}\text{C}$ 、動作湿度 $5 \sim 80\%$ (結露なし)、保管湿度 $10 \sim 90\%$ (結露なし) の範囲内で使用・保管し、その範囲外の温度や湿度には晒さないでください。この温度範囲外で使用または保管すると、本製品が損傷したり、ケースが変形することがあります。また、本製品を熱源の近くに置いたり、直射日光 (窓越しの直射日光も同様) に当てないでください。逆に、極端に低温の場所または湿気の多い場所に置くと、損傷する恐れがあります。
- ◆ 落雷の恐れがある場合、または長時間使用しない場合は、必ず本製品のプラグをコンセントから抜いてください。プラグを差し込んだままにすると、感電、ショート、火災の危険性が高まります。
- ◆ 本製品に同梱されている電源装置のみを使用してください。
- ◆ 本製品の上にものを載せたり、過度の負荷をかけないでください。
- ◆ 本製品に無理に負担をかけたりしないでください。問題に気づいた場合は、本書の「トラブルシューティング」を参照してください。

注意: FCC の定める電波規制に適合し、さらに周辺のラジオやテレビ受信に干渉を引き起こさないよう、必ずシールド タイプの電源コードを使用してください。必ず、付属の電源コードのみを使用してください。

重要な情報: 本製品の使用中に生じたデータのいかなる損失、改悪、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても当社はそのデータの回復または修復について責任を負いません。データの損失を避ける手段の 1 つとして、データのコピーを 2 部取ることをお勧めします。たとえば、1 部を外付けハード ディスクに取り、もう 1 部を内部ハード ディスクや別の外付け

ハード ディスク、またはリムーバブルストレージ メディアに取ります。LaCie では、CD、DVD ドライブの豊富な製品ラインを提供しています。バックアップについて詳しくは、当社の Web サイトをご覧ください。

重要な情報: 1GB は 1,000,000,000 バイトです。1TB は 1,000,000,000,000 バイトです。フォーマット後に実際に利用可能なストレージ容量は、動作環境によって異なります (通常 $5 \sim 10\%$ 減)。

1. 概要

LaCie Rugged Safe をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品をコンピュータに接続し、スピーディーで簡単なソフトウェア セットアップ手順に従うだけで、大切なデータをアクセス権のないユーザーから保護することができます。

LaCie Rugged Safe は、標準の外付けハード ディスクのように動作しますが、バイOMETRICS 技術を駆使してデータを安全に保存します。この先端分野は、指紋や音声認識などの生物学的特徴を使って個人識別を行うものです。Rugged Safe が採用しているテクノロジー「指紋スキャン」は、今日最もよく利用されているバイOMETRICS システムです。固有の指紋でアクセスを制限することで、Rugged Safe のデータを安全に保管できます。

LaCie Safe Manager は、指紋識別とパスワード保護を簡単に管理できる直感的なプログラムです。ソフトウェア ウィザードの手順に従って操作すると、LaCie Rugged Safe のインストール プロセスを完了できます。

LaCie Rugged Safe は日常生活のトラブルからデータを保護する機能も備えています。ケース内には衝撃吸収材が取り付けられているため、ハード ディスクの受ける衝撃が緩和されます。また、外部バンパーによって外装は摩耗から保護されます。

Rugged Safe のセキュリティ レベル

- ◆ レベル 1 バイOMETRICS アクセス: 認証ユーザーのみがデータにアクセスできます。
- ◆ レベル 2 AES (Advanced Encryption Standard): Advanced Encryption Standard (AES) は米国政府と世界各国で使用されています。米国のセキュリティ システムや情報を保護するために製品に実装された AES は、入手および使用前に米国国家安全保障局 (NSA) によってレビューおよび認定されます。
- ◆ レベル 3 パスワード認証: 管理者はデバイスを管理および設定するパスワードを作成します。

クイック リンク

トピックをクリックしてください:

- ◆ LaCie Rugged Safe の接続
- ◆ LaCie Rugged Safe のセットアップ
- ◆ LaCie Rugged Safe の使用



1.1. 耐衝撃機能

デジタル データは慎重に扱うのが最適ですが、人もファイルも災難や不幸な事故を避けられません。物をぶつけたり、落としたりというさまざまな危険に溢れている中で、LaCie Rugged Safe はデータの保護に最適です。LaCie Rugged Safe の物理的な保護設計の説明については、[図 01](#) を参照してください。

1.2. 放熱設計

LaCie Rugged Safe のアルミニウム ボディは内部ドライブの熱を自然に分散しているため、ファンが不要になりました。この独特な設計は、内部のドライブから外装ケースに熱を引き出します。また、内部ドライブの安全性を保ちながら、耐用年数と信頼性を引き伸ばします。そのため、外装ケースに触れたときに熱を感じても正常です。

4 個以上の動作している本製品を積み重ねて使用することは推奨されません。

重要な情報: Rugged Safe ディスクを積み重ねると、ユーザーがバイOMETリック センサーを使用しづらくなったり、センサーが指紋の読み取りエラーを起こしたりする可能性があります。実際に使用する場合と同じ位置と向きでディスクに指紋を登録することをお勧めします。



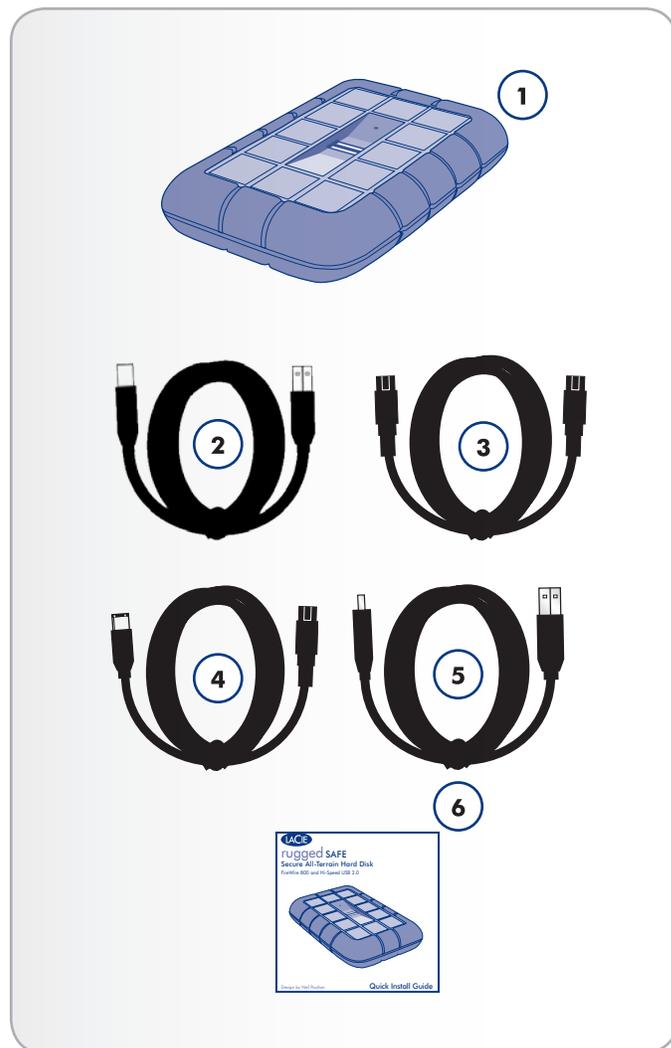
図 01

1.3. パッケージ内容

LaCie Rugged Safe 製品のパッケージの内容:

1. LaCie Rugged Safe
2. Hi-Speed USB 2.0 ケーブル
3. FireWire 800 ケーブル
4. FireWire 400 - FireWire 800 (6-9 ピン) アダプタ ケーブル
5. 電力共有ケーブル
6. クイック インストール ガイド

重要な情報: 購入時の梱包材は保管しておいてください。デバイスの修理または点検が必要になった場合、必ず製品の包装箱に梱包してご返送ください。



1.4. 最小システム要件

オペレーティングシステム	インタフェースポート	ディスク空き容量
最新バージョンの Microsoft Windows XP、Windows Vista、または Windows 7	FireWire 400*、FireWire 800**、または USB 2.0	600 MB 以上を推奨
最新バージョンの Apple OS 10.5.x または 10.6.x	FireWire 400*、FireWire 800**、または USB 2.0	600 MB 以上を推奨

*同梱されている FireWire 400 - 800 ケーブルを使用すると、Rugged Safe をコンピュータの FireWire 400 ポートに接続できます。

**多くのコンピュータにネイティブの FireWire 800 ポートはありません。より高速な FireWire インタフェースを利用するには、デスクトップ コンピュータ (PCI-E) または携帯型コンピュータ (Express34) 用に拡張カードの購入が必要な場合があります。LaCie では拡張カードを含め、多様な周辺機器を用意しています。詳しくは、LaCie Web サイト www.lacie.jp をご覧ください。

技術面での注意: USB 2.0 の転送速度を得るには、ハードディスクを USB 2.0 のホストポートに接続する必要があります。USB 1.1 ポートに接続すると、ハードディスクは USB 1.1 の速度で動作します。

技術面での注意: 登録ユーザーは Windows または Mac コンピュータから Rugged Safe にアクセスできます。Rugged Safe の最適なフォーマット方法については、「[6. LaCie Rugged Safe のフォーマット](#)」を参照してください。

1.5. 製品の外観

1.5.1. 上面/正面図

1. バイOMETリック指紋センサー - ここで指をスワイプすると、LaCie Rugged Safe にアクセスできます。詳しくは、「2.1. 指紋センサーの使用法」を参照してください。
2. ドライブモード LED - この LED はドライブモードを示します。詳しくは、次の表を参照してください。

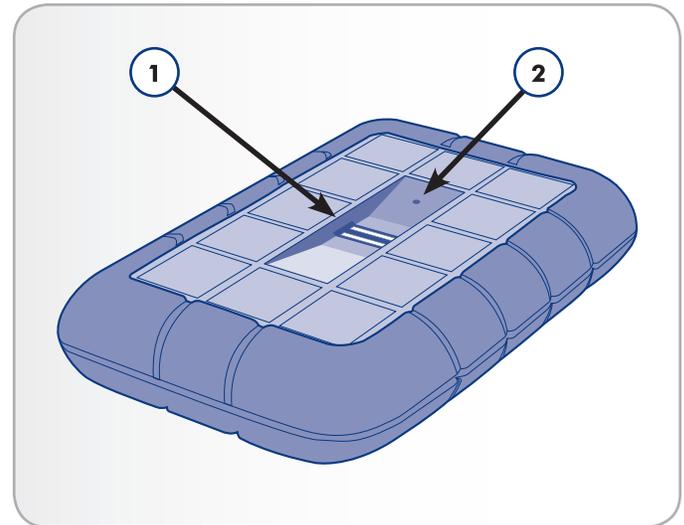


図 02

1.5.2. ドライブモード LED の動作

LED の状態:	ディスクの状態:
赤色に点滅	ロックされています (指紋認証待ちです)。または指紋認証に失敗しました。
オレンジ色に点滅	指紋の認証
緑色に点灯	ロック解除
緑色に点滅	データにアクセス中

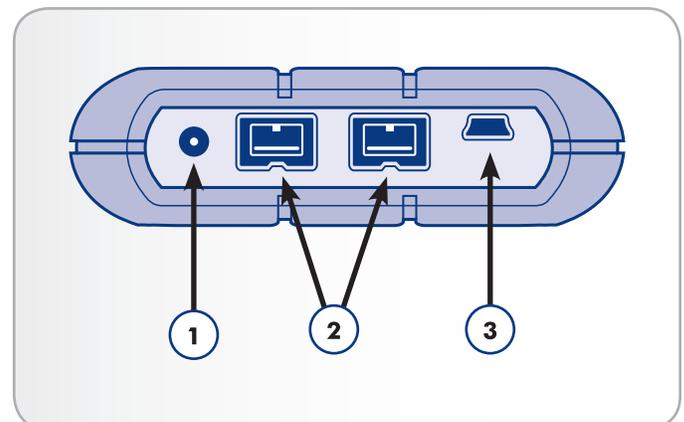


図 03

1.5.3. 背面図

1. 電力共有ケーブル コネクタ
2. FireWire 800 コネクタ
3. Hi-Speed USB 2.0 コネクタ

1.6. ケーブルとコネクタ

1.6.1. USB ケーブルとコネクタ

USB は、周辺装置とコンピュータを相互に接続するためのシリアル入力/出力テクノロジーです。Hi-Speed USB 2.0 は、ハード ディスク、CD/DVD ドライブ、デジタル カメラなど、より高速なデバイスをサポートするデータ転送レートを備えています。そのため、ほとんどの一般ユーザー向けワークステーションおよびプロフェッショナル向けワークステーションで使用できます。

USB 2.0 ケーブル

Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続したときに最大のデータ転送パフォーマンスを確保するために、本製品には Hi-Speed USB 2.0 ケーブルが付属しています (図 04 - USB ケーブルの端子)。ケーブルは、USB 1.1 ポートに接続しても機能しますが、ハード ディスクのパフォーマンスは USB 1.1 の転送速度に制限されます。



図 04 - USB ケーブルの端子

1.6.2. FireWire 接続

FireWire は、IEEE 1394 と呼ばれ、コンピュータと周辺デバイスを相互に接続するための高速シリアル入力/出力テクノロジーです。FireWire 800 はより高速な IEEE 1394b 規格の実装です。

FireWire 800 は、さらに高い帯域幅とデバイス間のケーブル接続距離拡張を提供します。FireWire 800 は、オーディオ、ビデオ、グラフィックなど、帯域重視のアプリケーションに最適です。

FireWire 800 ケーブル

本製品には FireWire 800 9-9 ピン ケーブル (図 05 - FireWire 800 ケーブルの端子) および FireWire 400 - 800 6-9 ピン ケーブル (図 06 - FireWire 400 - 800 ケーブルの端子) が付属しています。



図 05 - FireWire 800 ケーブルの端子



図 06 - FireWire 400 - 800 ケーブルの端子

2. LaCie Rugged Safe をインストールする前に

LaCie Rugged Safe は他の多くのポータブル ディスクとは異なり、内部と外部の両面でデータ セキュリティのために構築されています。 お使いになる前に、ディスクの保護機能についてご理解ください。

トピック

2.1. 指紋センサーの使用法

2.2. 管理者の権限

2.3. 認証ユーザーおよび権限

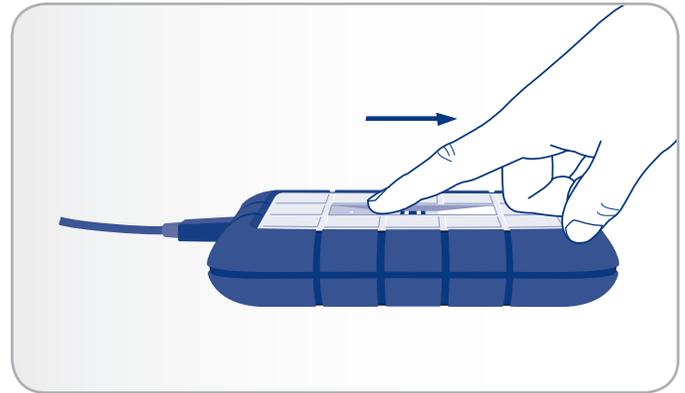


図 07

2.1. 指紋センサーの使用法

指紋センサーを使用するには、次の手順に従います。

- ◆ ディスクの前面が手前に向いていることを確認します。
- ◆ センサーの面に指が平らになるようにしっかりと置きます。
- ◆ このとき、指の先が金属製の溝の上端とセンサーに触れるようにしてください。
- ◆ 指紋を登録するとき、またはアクセスを承認するとき、指をセンサー面上でゆっくり手前に滑らせます (図 07)。

センサーに指紋が認識されない場合、センサーのダイアログに表示されるエラーに従って操作を調節してください。 それでも問題が続く場合は、「[8.2. 指紋センサーのトラブルシューティング](#)」を参照してください。

重要な情報: LaCie Safe Manager は最高 10 個の指紋を登録できます。 さらに、各ユーザーは複数の指紋を登録できます。例えば、5 人のユーザー (管理者を含む) がそれぞれ 2 個の指紋を登録したり、1 人のユーザーが 10 個の指紋を登録したりできます。 ささまざまな組み合わせが可能で、管理も容易で直感的です。 詳しくは、「[2.4. ユーザー登録の規則](#)」を参照してください。

2.2. 管理者の権限

管理者は、LaCie Rugged Safe に保存されているデータにアクセスできるユーザーについてすべて管理できます。 管理者は以下を実行できます。

- ◆ ユーザーの追加または削除
- ◆ ユーザーの名前またはパスワードの変更
- ◆ 他のユーザーに対する管理者権限の割り当て

管理者権限については、以下の点に注意してください。

- ◆ デフォルトでは、ディスクを最初に使用するユーザーが管理者になります。 ただし、管理者権限は任意のユーザーに割り当てることができます。 同様に、管理者は自分の権限を標準のユーザーに合わせることもできます。 LaCie Rugged Safe には 1 人以上の管理者が必要であるという点に注意してください。
- ◆ 1 人では常に対応できるとは限らないため、管理者を 2 人以上にすることをお勧めします。 1 人または複数人の管理者が対応できなくなり、Rugged Safe へのアクセスがブロックされた場合、LaCie は責任を負いませんのでご注意ください。

管理者権限について詳しくは、「[5.2. Rugged Safe の管理](#)」を参照してください。

重要な情報: 指に怪我をして包帯を巻く必要が出てくる場合に備え、各ユーザーが 2 個の指紋を登録することを強くお勧めします。

重要な情報: LaCie Rugged Safe に 10 個の指紋を登録すると、追加の指紋を作成するボタンはグレー表示されます。

ユーザー登録について詳しくは、「[4. LaCie Rugged Safe のセットアップ](#)」を参照してください。

2.3. 認証ユーザーおよび権限

ユーザーの登録時に、管理者は、データに対する標準のユーザー アクセス権、または管理者権限を与えることができます。

- ◆ **ユーザー** ディスク上のデータの読み取りおよび書き込みを行います。 ユーザーは自分のパスワードを変更し、登録済みの指紋を変更できます。
 - ◆ **管理** ディスクを使用できるユーザーについてすべて管理します。 管理権限について詳しくは、「[5.2. Rugged Safe の管理](#)」を参照してください。
-

3. LaCie Rugged Safe の接続

次の手順に従って、LaCie Rugged Safe を接続して電源を入れます。

ステップ	トピック
1	3.1. インタフェース ケーブルの接続
	3.2. 複数のデバイスの接続
2	3.3. オプションの電力共有ケーブルを接続する (USB)
3	3.4. LaCie Safe Manager ソフトウェアのインストールおよび実行

重要な情報: FireWire と USB のインタフェースを同時に接続することはできません。 インタフェースを切り替える場合、「[3.6. インタフェースの切り換え](#)」の手順に従って操作してください。

技術面での注意: 最初の登録プロセスが終わったら、FAT32 (MS-DOS) で LaCie Rugged Safe をフォーマットすることができます。 クロスプラットフォーム (Mac/Windows) でディスクを使用する予定の場合、FAT32 (MS-DOS) ファイル システム フォーマットを使用する必要があります。 詳しくは、「[6. LaCie Rugged Safe のフォーマット](#)」を参照してください。 ディスクはいつでも再フォーマットできますが、フォーマットによってデータは消去されます。

注意: LaCie Rugged Safe は、熱分散を促すためにアルミ合金のケースを使用しています。 十分な空気流が得られるよう必ず通気の良い場所に設置してください。 ディスク背面にある通気口を塞いだり、ディスクの前面部を遮ることは避けてください。

3.1. インタフェース ケーブルの接続

3.1.1. 接続: LaCie Safe Manager のインストール

LaCie Safe Manager をインストールする LaCie Rugged Safe の接続

オペレーティング システム	ポート
Windows (すべてのバージョン)	USB 2.0 & FireWire 400/800
Mac OS 10.6.x	USB 2.0 & FireWire 400/800
Mac OS 10.5.x	USB 2.0 のみ

LaCie Safe Manager のインストール手順については、「[3.4. LaCie Safe Manager ソフトウェアのインストールおよび実行](#)」を参照してください。インストールが完了すると、すべての対応オペレーティング システムでいずれかのポートを使用できます。

技術面での注意: すべての対応オペレーティング システムで USB 2.0 と FireWire 800 ポートを使用する場合、ほとんどの環境で Rugged Safe は動作します。唯一の制限は、Mac OS 10.5.x を実行するコンピュータで LaCie Safe Manager をインストールするときに USB 2.0 インタフェースを使用することです。デバイスの設定（つまり、セキュリティのための指紋登録やユーザー登録など）は、すべての対応オペレーティング システムの両方のインタフェースで対応されています。

3.1.2. 接続: ポート

1. インタフェース ケーブル (USB 2.0、FireWire 400、または FireWire 800) の一方の端子をコンピュータの未使用のインタフェース ポートに接続します (図 08)。
2. ケーブル (USB 2.0 または FireWire 800) のもう一方の端子を Rugged Safe の背面にあるインタフェース ポートに接続します。
3. ディスクが USB インタフェースを使用している場合、オプションの USB 電源共有ケーブルをディスクとコンピュータに接続します。コンピュータ上の USB ポートから Rugged Safe の操作に十分な電力を供給できる場合、インストールが完了した後は追加の電源ケーブルが不要なこともあります。「[3.3. オプションの電力共有ケーブルを接続する \(USB\)](#)」を参照してください。

次のページに続く >>

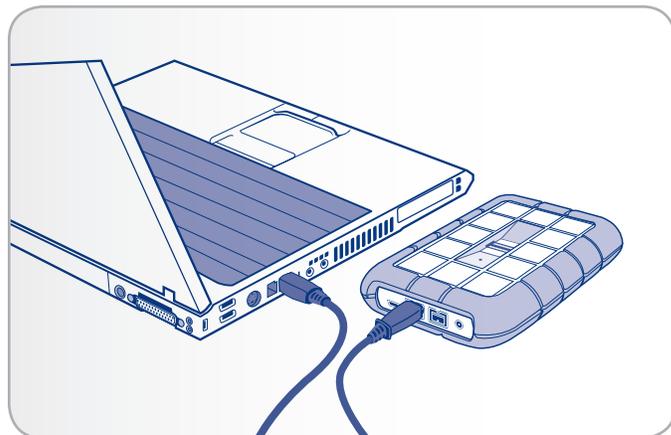


図 08

重要な情報: インタフェース ケーブルを接続して数秒以内に Rugged Safe の電源が入らない場合、[3.3. オプションの電力共有ケーブルを接続する \(USB\)](#) の手順に従って操作してください。

技術面での注意: Hi-Speed USB 2.0 データ転送速度を得るには、コンピュータの Hi-Speed USB 2.0 ポートに必ず接続してください。それ以外のインタフェースを接続すると、USB 1.1 のデータ転送速度に制限されます。

技術面での注意: FireWire でデジチェーン接続を行う方法については、「[3.2. 複数のデバイスの接続](#)」を参照してください。

4. 数秒すると、ハード ディスクがコンピュータにマウントされ、[マイ コンピュータ] または [コンピュータ] (Windows の場合) またはデスクトップ (Mac の場合) に [ユーザーリティ] という小さなパーティションとして表示されます。Windows Vista および Windows 7 ユーザーは AutoPlay プロンプトが表示されることもあります。
 5. 「3.4. LaCie Safe Manager ソフトウェアのインストールおよび実行」のセクションに進みます。
-

3.2. 複数のデバイスの接続

FireWire 800 を使用すると、LaCie Rugged Safe に追加のハード ディスクまたはデバイス (つまりデジタル ビデオ カメラ) を直接接続できます (この接続は、「デジチェーン接続」と呼ばれています)。

デバイスをデジチェーン接続するには、FireWire インタフェースのみを使用する必要があります。複数のインタフェースが混在している場合、コンピュータはデジチェーン接続されているデバイスを認識しません。例えば、Hi-Speed USB 2.0 インタフェース経由でコンピュータに接続する Rugged Safe に接続する FireWire デバイスです。

1. LaCie Rugged Safe のホスト コンピュータ インタフェースは、次の手順に従って接続します。 [3.1. インタフェース ケーブルの接続](#)。
2. FireWire デバイスを LaCie Rugged Safe に接続します。

デジタル ビデオ カメラ*を接続するには、次の手順に従います。

- a. iLink/DV ケーブル (別売) を使用して、ケーブルの 4 ピン端子をデジタル カメラの 4 ピンポートに接続します。
- b. iLink/DV ケーブルの 9 ピン端子を LaCie ハード ディスク背面の 9 ピン FireWire 800 ポートに接続します。

FireWire 800 の周辺機器を取り付けるには、次の手順に従います。

- a. FireWire 周辺機器の未使用の FireWire 800 ポートに、FireWire 800 ケーブルを接続します。
- b. ケーブルのもう一方の端子を LaCie Rugged Safe の未使用の FireWire 800 ポートに接続します。

FireWire 400 の周辺機器を取り付けるには、次の手順に従います。

- a. FireWire 400 - FireWire 800 ケーブルの FireWire 400 用端子を周辺機器の未使用の FireWire 400 ポートに接続します。
 - b. ケーブルのもう一方の端子を LaCie Rugged Safe の未使用の FireWire 800 ポートに接続します。
3. デジチェーン接続したディスクは、[マイ コンピュータ] または [コンピュータ] (Windows の場合) またはデスクトップ (Mac の場合) に表示されます。デジタル カメラはビデオ編集ソフトウェアから認識されるようになります。

重要な情報: FireWire と USB のインタフェースを同時に接続することはできません。インタフェースを切り替える場合、「[3.6. インタフェースの切り換え](#)」の手順に従って操作してください。

技術面での注意: 異種インタフェース (FireWire 400 と FireWire 800) を併せて使用してデジチェーン接続する場合、結果のスピードは低い方のスピードに (FireWire 400) になります。

デジチェーン接続の設定

- ◆ LaCie Rugged Safe に直接接続している FireWire 400 デバイス。Rugged Safe は FireWire 800 ポート経由でコンピュータに接続されます。
- ◆ LaCie Rugged Safe に直接接続している iLink/DV デバイス。Rugged Safe は FireWire 800 ポート経由でコンピュータに接続されます。
- ◆ LaCie Rugged Safe に直接接続している FireWire 800 デバイス。Rugged Safe は FireWire 800 ポート経由でコンピュータに接続されます。

* 一部のカメラでは、この設定に対応していないか、または LaCie Rugged Safe のパフォーマンスが劣化します。

3.3. オプションの電力共有ケーブルを接続する (USB)

コンピュータからの USB 接続では、LaCie Rugged Safe に必要な電源を供給できない可能性があります。Rugged Safe に追加の電力を供給するには、同梱されている USB 電力共有ケーブルをコンピュータからディスクに接続します。

1. 電力共有ケーブルの小さい方の端子を LaCie ディスクの背面に接続します (図 09)。「1.5.3. 背面図」を参照してください。
2. 電力共有アダプタ ケーブルの USB プラグを、コンピュータの空いている USB ポートに差し込みます。

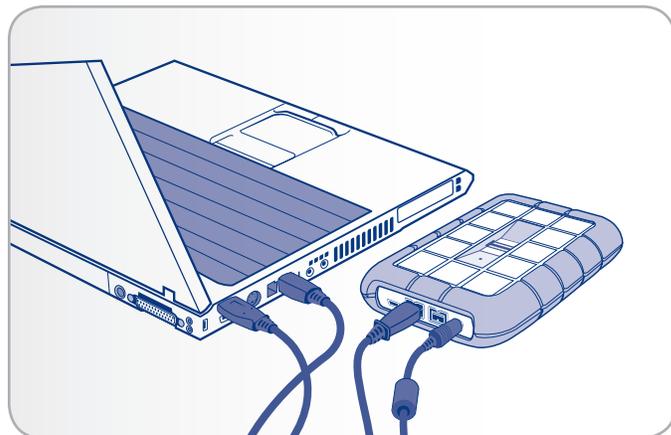


図 09

3.4. LaCie Safe Manager ソフトウェア のインストールおよび実行

LaCie Safe Manager を使用すると、LaCie Rugged Safe のアクセス権を管理できます。

重要な注意: LaCie Safe Manager は、ユーザーの認証と管理を行うようにディスクを構成するコンピュータでのみ必要になります。LaCie Safe Manager がインストールされていないコンピュータに LaCie Rugged Safe を取り付けると、ディスクの LED が赤色に点滅し、認証されたユーザーが指をスワイプするまで、ディスクはデスクトップ (Mac の場合) または [マイコンピュータ] または [コンピュータ] (Windows の場合) 上に表示されません。

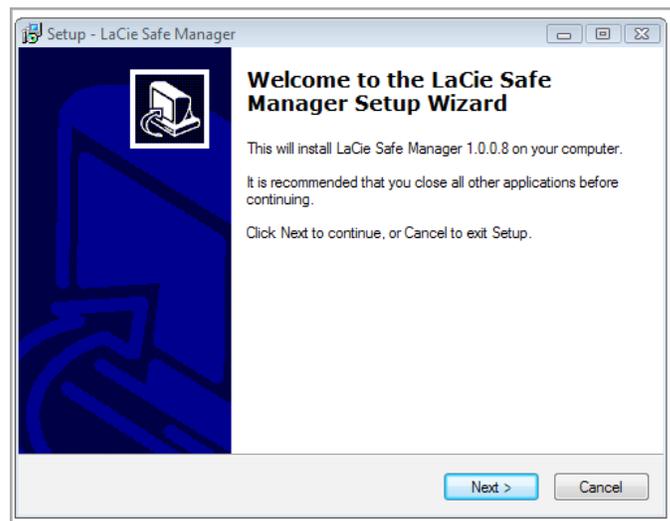


図 10

3.4.1. Windows をご使用の方

Windows の場合、USB 2.0、FireWire 400、または FireWire 800 ポートを使用して LaCie Safe Manager をインストールできます。詳しくは、「3.1. インタフェース ケーブルの接続」を参照してください。デバイスを Windows Vista または Windows 7 に接続すると、AutoPlay ウィンドウが表示され、パーティションのフォルダを開くようにプロンプトが表示されることがあります。ステップ 1 を参照してフォルダを選択します。

1. LaCie Utilities パーティションから LaCie Safe Manager のインストーラを実行します。LaCie Safe Manager インストーラは、UTILITIES ディスク内の [マイ コンピュータ] または [コンピュータ] にあります。ディスク内には **Software** および **Manual** という 2 つのフォルダがあります。Software フォルダを開き、LaCie Safe Manager アイコンをダブルクリックします。
2. LaCie Safe Manager Setup Wizard (セットアップ ウィザード) が起動します。言語を選択し、[OK] をクリックします。
3. ウェルカム ウィンドウがセットアップに表示されます (図 10)。このインストーラを実行する前に、すべてのアプリケーションを終了することをお勧めします。[Next (次へ)] をクリックして続行するか、開いているアプリケーションを終了したい場合は [Cancel (キャンセル)] をクリックします。
4. [Setup (セットアップ)] プログラムがソフトウェアをインストールします。

次のページに続く >>

5. インストールが完了し、ダイアログ ウィンドウが開きます。このウィンドウで、インストールが成功したこと (図 11)、およびコンピュータを再起動する必要があることを確認します。
6. 「4. LaCie Rugged Safe のセットアップ」のセクションに進みます。

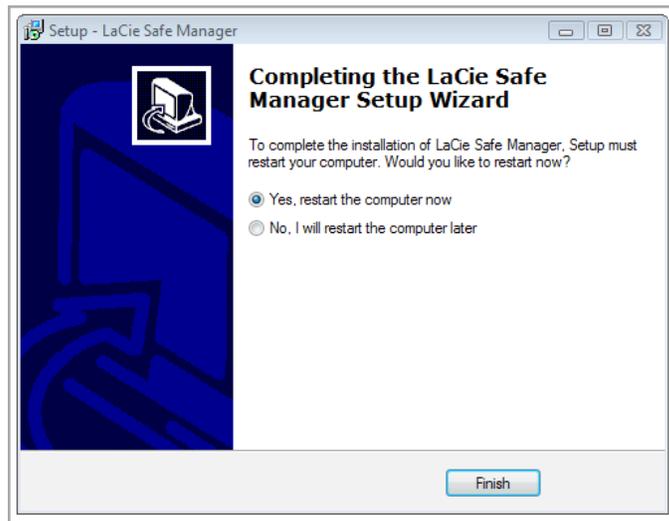


図 11

3.4.2. Mac をご使用の方

Mac 10.6.x ワークステーションでは、USB 2.0 ポートまたは FireWire ポートを使用して LaCie Safe Manager をインストールできます。ただし、Mac 10.5.x システムではインストールに USB 2.0 ポートのみを使用できます。インストールが完了すると、両方のポートを設定に使用できます。詳しくは、「3.1. インタフェース ケーブルの接続」を参照してください。

1. LaCie Rugged Safe UTILITIES パーティションから LaCie Safe Manager のインストーラを実行します。
2. UTILITIES パーティションを開きます。Software フォルダを見つけ、LaCie Safe Manager のインストール アイコンをダブルクリックします。
3. インストールが始まります (図 12 を参照してください)。インストールのプロンプトに従って続行します。
4. メッセージが表示されたら、コンピュータの管理者パスワードを入力します。
5. インストールを完了するには再起動が必要であることを示すプロンプトが表示されたら、[インストールを続ける] を選択します (図 13)。
6. 完了すると、LaCie Safe Manager がインストールされたことを示すウィンドウが表示されます (図 14)。

「4. LaCie Rugged Safe のセットアップ」のセクションに進みます。

技術面での注意: すべての対応オペレーティング システムで USB 2.0 と FireWire 800 ポートを使用する場合、ほとんどの環境で Rugged Safe は動作します。唯一の制限は、Mac OS 10.5.x を実行するコンピュータで LaCie Safe Manager をインストールするときに USB 2.0 インタフェースを使用することです。デバイスの設定 (つまり、セキュリティのための指紋登録やユーザー登録など) は、すべての対応オペレーティング システムの両方のインタフェースで対応されています。



図 12

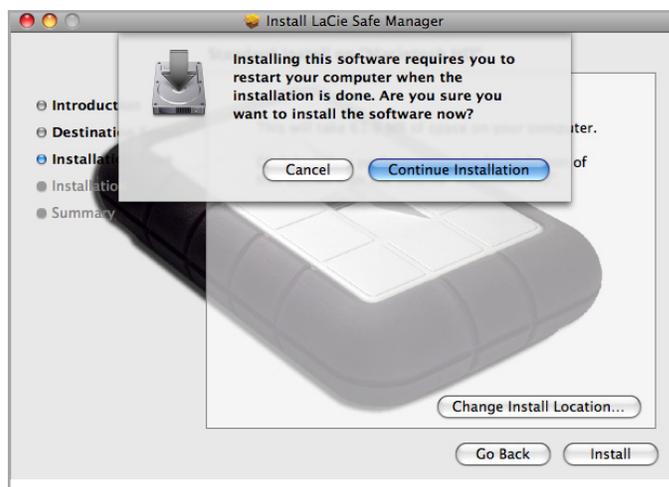


図 13

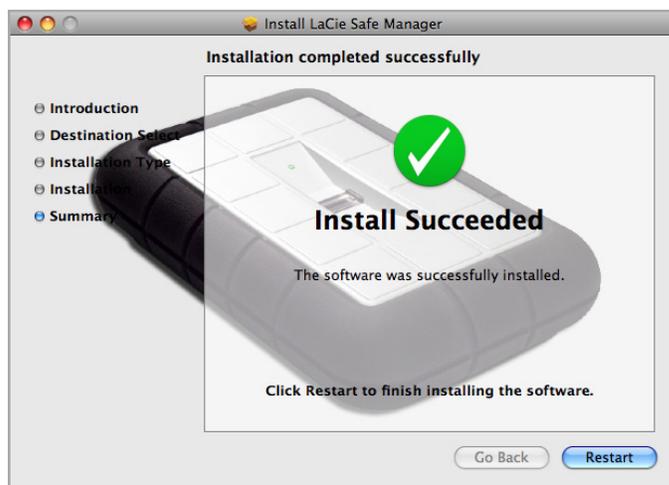


図 14

3.5. ハード ディスクの取り外し

USB および FireWire 外付けデバイスは「プラグ アンド プレイ」接続を特徴としているので、コンピュータの実行中にハード ディスクを接続したり、取り外すことができます。故障を防ぐため、ハード ディスクを取り外すときには次の手順に従ってください。

Windows XP をご使用の方

画面右下にあるシステム トレイから、[ハードウェアの安全な取り外し] アイコン (ハードウェアの上に小さい緑色の矢印が描かれたイメージ) をクリックします (図 15 - Windows XP をご使用の方)。

[ハードウェアの安全な取り外し] アイコンが制御するデバイスに関する詳細なメッセージが表示されます ([取り外すデバイスを選択して ... 取り外しの安全が確認されたら ... 取り外してください])。

次に、"USB 大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます" というメッセージが表示されます。これで、デバイスを安全に取り外すことができます。

Windows Vista/Windows 7 をご使用の方

画面右下にあるシステム トレイから、[ハードウェアの安全な取り外し] アイコン (ハードウェアの上に小さい緑色の矢印が描かれたイメージ) をクリックします。 (図 16 - Windows Vista/Windows 7 をご使用の方)

ハードウェアの安全な取り外しについてのメッセージが表示されます。 (図 17 - Windows Vista/Windows 7 をご使用の方)

取り外すデバイスの [取り外し] を選択します。 デバイスを安全に取り外せることを知らせるメッセージが表示されません。

Mac をご使用の方

ハード ディスク アイコンをゴミ箱にドラッグします (図 18 - Mac をご使用の方)。

これで、デバイスを取り外すことができます。

技術面での注意: Rugged Safe ディスクを簡単にロックするには、OS からデータ パーティションのマウントを解除し (取り外し)、登録されている指紋をスワイプします。LED が赤色に点滅します。これは、ディスクがロックされていることを示します。ディスクのロックについて詳しくは、「5.1. Rugged Safe のロック解除とロック」を参照してください。



図 15 - Windows XP をご使用の方



図 16 - Windows Vista/Windows 7 をご使用の方

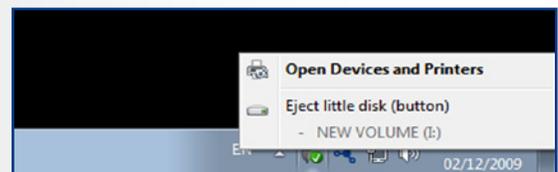


図 17 - Windows Vista/Windows 7 をご使用の方



図 18 - Mac をご使用の方

3.6. インタフェースの切り換え

USB および FireWire デバイスはプラグ & プレイ対応なので、コンピュータが実行中でも LaCie Rugged Safe のインタフェース接続を切り替えることができます。しかし、故障を防ぐために、インタフェースの切り替え前にディスクのマウントを解除することが重要です。マウントの解除手順については、「[3.5. ハード ディスクの取り外し](#)」(上記) を参照してください。適切にマウントを解除すると、代替インタフェースを使用してディスクを再接続できます。

4. LaCie Rugged Safe のセットアップ

初めて LaCie Safe Manager を適切に実行するには、LaCie Rugged Safe をコンピュータに取り付ける必要があります (3. LaCie Rugged Safe の接続)。デバイスが検出されると、LaCie Safe Manager が自動的に起動します。LaCie Safe Manager が開かない場合、手動で起動することもできます。

LaCie Safe Manager を開くには、次の手順に従います。

Windows をご使用の方:

- ◆ タスク バーの LaCie Safe Manager アイコンを右クリックし、[Open LaCie Safe Manager... (LaCie Safe Manager を開く...)] を選択します。(図 19 & 図 20)
- ◆ [スタート]、[プログラム]、[LaCie Safe Manager] の順にクリックします。

Mac をご使用の方:

- ◆ メニュー バーの [LaCie Safe Manager] をクリックし、[LaCie Safe Manager...] を選択します (図 21)。
- ◆ ファインダーで、Go / Applications / LaCie Safe Manager を選択します。

重要な情報: 次のセクションのスクリーンショットは Mac のものです。オペレーティングシステムや個人設定によっては、画面がご使用のコンピュータで少し異なる可能性があります。

このセクションは次のトピックで構成されています。

トピック

4.1. ステップ 1: 最初のユーザーの登録

4.2. ステップ 2: 最初のユーザーの指紋の登録

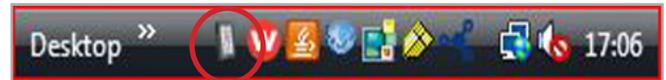


図 19

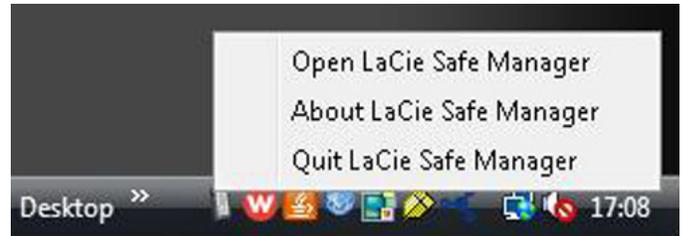


図 20



図 21

4.1. ステップ 1: 最初のユーザーの登録

ユーザー情報

Rugged Safe をコンピュータに接続すると、LaCie Safe Manager は自動的に起動します。次に進む前に、左側の列でディスクが選択されていることを確認します (図 22)。

重要な情報: Rugged Safe ディスクが左側の列に表示されない場合、適切に接続されていることを確認してください。詳しくは、「3. LaCie Rugged Safe の接続」を参照してください。

最初の起動時はウィザードのプロンプトに従って操作します。

1. [Next (次へ)] をクリックします。
2. ログイン名とパスワードを入力します (図 23)。英字 (アクセント記号なし、大文字と小文字の区別あり) と数字を入力できます。セキュリティを向上するには、セキュリティ リスクが高くなる可能性があるため、大きなグループに関連性や類似性があるパスワードは使用しないでください。パスワードを選択する補助として、パスワードの強度バーを参照してください (図 24)。
3. [Next (次へ)] を選択し、「4.2. ステップ 2: 最初のユーザーの指紋の登録」に進みます。

重要な情報: 初めて登録したユーザーはデフォルトで管理者になります。その後追加したどのユーザーにでも管理者権限を付与することができます。同様に、デフォルトの管理者に標準のユーザーの権限に合わせた権限を持たせることもできます。1 人が常に対応することはほぼ不可能なので、Rugged Safe 用に 2 人の管理者を設定することを強くお勧めします。



図 22

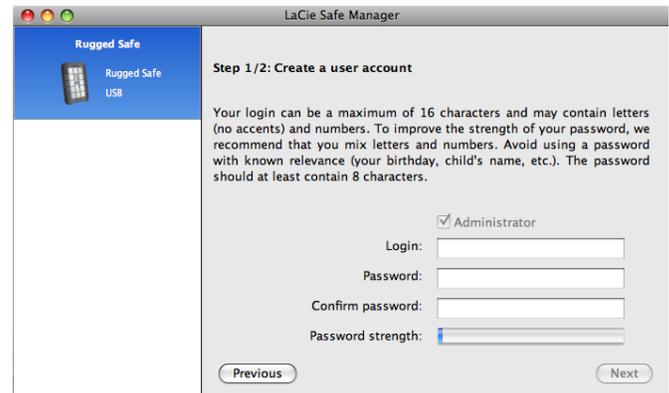


図 23

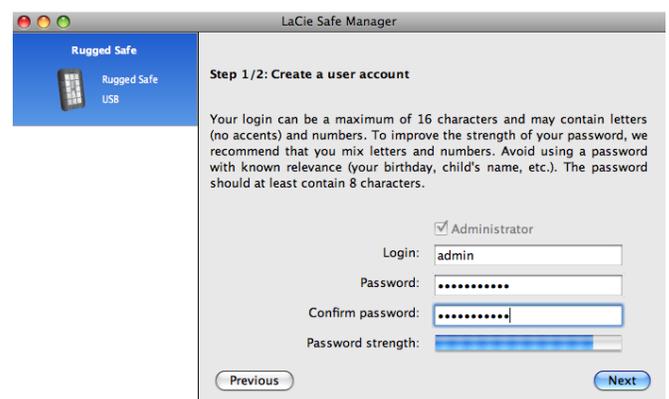


図 24

4.2. ステップ 2: 最初のユーザーの指紋の登録

1. 指紋の登録を開始するには、選択されていない指先でクリックします (図 25)。使用できる指は紺色のライトで示され、使用できない指は明るい青色で示されます。指を選択すると、スワイプ ダイアログが表示されます。
2. 指を凹部に平らになるように置いてください。指先が凹部の上端に触れるようにし、ゆっくり手前下へ引いてスライドさせます。指紋センサーの使用方法について詳しくは、「2.1. 指紋センサーの使用法」を参照してください。
3. スワイプ ダイアログの指示に従い、選択した指を指紋センサーでスワイプします。最初のスワイプに成功すると、同じ指をもう 1 度スワイプし、再確認用に 3 度目のスワイプをするよう指示があります (図 26)。

重要な情報: LaCie Safe Manager には最高 10 個の指紋を登録できます。また、各ユーザーは複数の指紋を登録できます。例えば、5 人のユーザー (管理者を含む) がそれぞれ 2 個の指紋を登録したり、1 人のユーザーが 10 個の指紋を登録したりできます。さまざまな組み合わせが可能で、管理も容易で直感的です。詳しくは、「2.4. ユーザー登録の規則」を参照してください。

4. 3 回スワイプする処理に成功したら、ダイアログに 3 つのチェックマークが表示され、ダイアログが終了します (図 27)。登録に成功した指の表示は、紺色から明るい青色に変わります。
5. 追加の指紋を登録するには、ステップ 1 ~ 3 を繰り返します。
6. 別の指紋を登録するか、[Next (次へ)] をクリックして続行します。
7. [Next (次へ)] を選択すると、LaCie Safe Manager によってユーザー情報が追加され、指が登録されます (図 28)。

次のページに続く >>



図 25



図 26



図 27

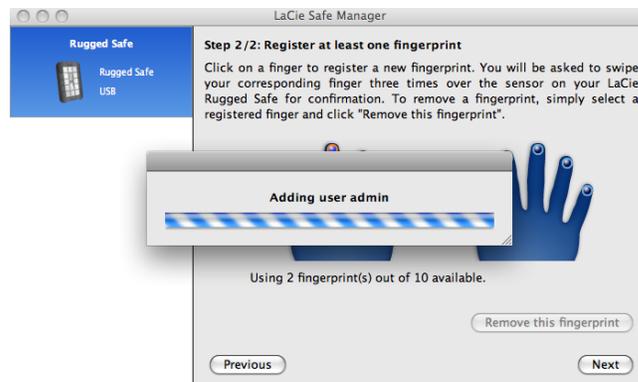


図 28

- Windows および Mac で使用するために FAT32 を使用してディスクをフォーマットするかどうかを確認するメッセージが表示されます (図 29)。HFS (Mac) または NTFS (Windows) を使用する場合、キャンセルを選択し、オペレーティング システムのディスク ユーティリティを使用して Rugged Safe をフォーマットします。データを保存し、ファイルにアクセスするには、ディスクをフォーマットする必要があります。

重要な情報: オペレーティング システムのディスク ユーティリティを使用して Rugged Safe をフォーマットしても、記録した指紋のセキュリティは破棄または消去されません。ただし、複数のパーティションで Rugged Safe をフォーマットすることは推奨されません。複数のパーティションで Rugged Safe を使用すると、データを損失する危険性が高くなります。詳しくは、「6.2. LaCie Rugged Safe のフォーマット」を参照してください。

- Rugged Safe をフォーマットしていない場合、「6. LaCie Rugged Safe のフォーマット」に進みます。ディスクがフォーマット済みの場合、「5. LaCie Rugged Safe の使用」に進みます。

重要な情報: データを保存し、ファイルにアクセスするには、Rugged Safe をフォーマットする必要があります。

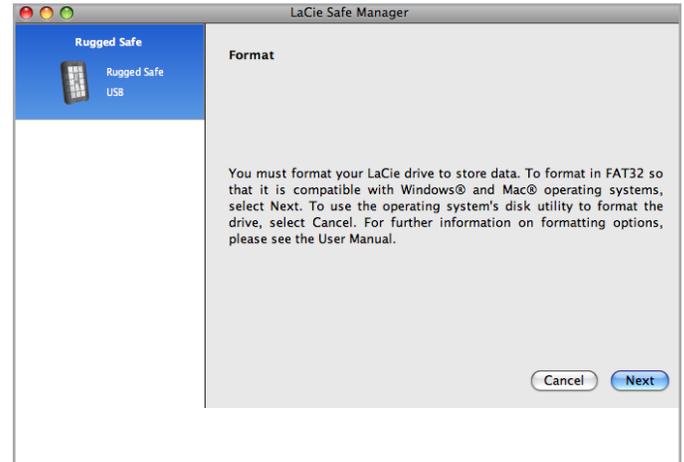


図 29

5. LaCie Rugged Safe の使用

人以上のユーザーを登録すると、LaCie Rugged Safe ディスクの使用を開始できます。 ディスクを接続してデータの保存とアクセスを開始してください (詳しくは「[3. LaCie Rugged Safe の接続](#)」を参照してください)。

トピック

[5.1. Rugged Safe のロック解除とロック](#)

[5.2. Rugged Safe の管理](#)

[5.3. LaCie Safe Manager の起動設定](#)

5.1. Rugged Safe のロック解除とロック

5.1.1. LaCie Safe Manager がインストールされている場合にディスクのロックを解除する

重要な注意: LaCie Safe Manager は、ユーザーの認証と管理を行うようにディスクを構成するコンピュータでのみ必要になります。LaCie Safe Manager がインストールされていないコンピュータに LaCie Rugged Safe を取り付けると、認証されたユーザーが指をスワイプするまで、ディスクはデスクトップ (Mac の場合) または [マイ コンピュータ] (Windows の場合) 上に表示されません。

1. Rugged Safe をコンピュータに接続します (3.1. インタフェース ケーブルの接続)。
2. ディスクの初期化中は、ディスクの上面にある LED が赤色ではなく緑色に点灯します。少し待つと、LED は赤色に点滅します。
3. LaCie Safe Manager が自動的に起動し、使用するディスクのロックを解除するか、管理ウィンドウを開くかを確認するメッセージが表示されます。
4. ディスクのロックを解除するには、次のように選択できます。
 - ◆ パスワードを入力します。右側のオプション [Click here to unlock your device and access data (デバイスのロックを解除し、データにアクセスするにはここをクリック)] をクリックします (図 30)。ログイン名とパスワードを入力すると (図 31)、デバイスのロックは解除され、データにアクセスできるようになります。また、メニュー (Mac の場合) またはシステム トレイ (Windows の場合) の LaCie Safe Manager アイコンをクリックし、[Unlock (ロック解除)] にアクセスすることもできます。ログイン名とパスワードのプロンプトが表示されます。
 - ◆ 登録済みの指をスワイプします。指紋センサーの凹部に登録済みの指を平らになるように置きます。指先が凹部の上端に触れるようにし、ゆっくり手前下に引いてスライドさせます。指のスワイプに成功すると、デバイスのロックが解除され、データにアクセスできるようになります。
5. ロックが解除されると、LED は緑色に点灯します。これはデータのパーティションが使用できることを示します。LaCie Safe Manager にはディスクのロックが解除されたことが表示され、ディスクを管理できるようになります (図 32)。管理権限を使用してログインする必要があります。LaCie Safe Manager は最小化 (Windows の場合) するか、または隠す (Mac の場合) ことができます。または、データにアクセスする必要がない場合は終了できます。

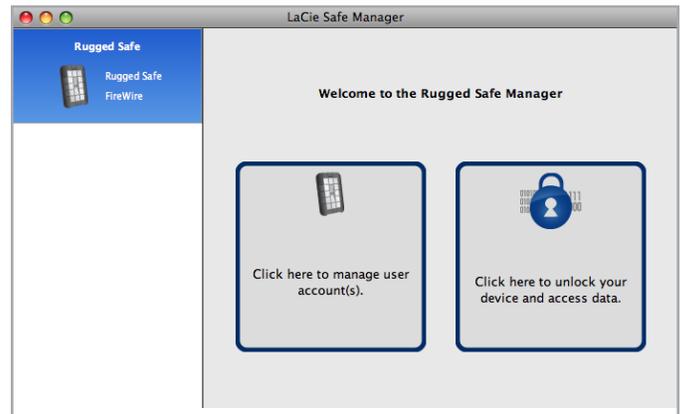


図 30



図 31

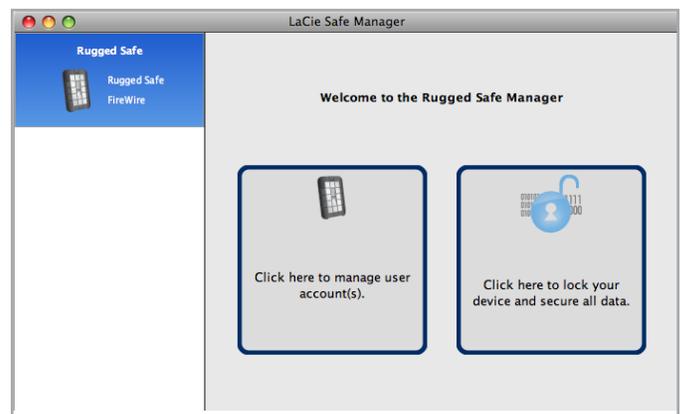


図 32

5.1.2. LaCie Safe Manager がインストールされていない場合にディスクのロックを解除する

1. Rugged Safe をコンピュータに接続します。
2. ディスクの初期化中は、ディスクの上面にある LED が赤色ではなく緑色に点灯します。少し待つと、LED は赤色に点滅します。
3. 指紋センサーの凹部に登録済みの指を平らになるように置きます。指先が凹部の上端に触れるようにし、ゆっくり手前下に引いてスライドさせます。
4. 指のスイープに成功すると、デバイスのロックが解除され、データにアクセスできるようになります。

技術面での注意: 指紋センサーの使用方法について詳しくは、「[2.1. 指紋センサーの使用方法](#)」を参照してください。指紋に問題が発生する場合は、「[8.2. 指紋センサーのトラブルシューティング](#)」を参照してください。

5.1.3. ディスクのロック

1. LaCie Safe Manager の使用、不使用に関係なく、パーティションを取り外す (Windows の場合) か、マウントを解除する (Mac) と、ディスクがロックされることがあります。

- ◆ Windows をお使いの場合、ディスクを取り外すことができます。[マイ コンピュータ] (Windows XP の場合) または [コンピュータ] (Windows Vista および Windows 7 の場合) のディスク アイコンを右クリックし、[取り外し] をクリックします。ディスク アイコンが消去され、LED は赤色に点滅します。これはデバイスがロックされていることを示します。

重要な情報: Windows システム トレイの [取り外し] アイコンを使用すると、Rugged Safe がロックされないことがあります。上記の手順でデバイスを取り外すことをお勧めします。

- ◆ Mac をお使いの場合、ディスクのマウントを解除します (「3.5. ハード ディスクの取り外し」を参照してください)。パーティションが消去されたら、登録済みの指をスワイプします。ディスク アイコンが消去され、LED は赤色に点滅します。これはデバイスがロックされていることを示します。

重要な情報: Mac をお使いの場合、デバイスのマウントを解除する前に登録済みの指をスワイプすると、デバイスの削除に関するエラーが生成されます。ロックする前に、ドライブのマウントを解除してください。

2. LaCie Safe Manager を実行しているコンピュータの場合、次の手順に従います。

- ◆ メニュー バーのアイコンをクリックするか (Mac の場合)、システム トレイのアイコンを右クリックします (Windows の場合)。[Rugged Safe]、[Lock (ロック)] の順にクリックします (図 33)。データドライブ アイコンが消去され、LED は赤色に点滅します。これはデバイスがロックされていることを示します。LaCie UTILITIES パーティションのソフトウェアまたはドキュメントにアクセスできるようになります。
- ◆ LaCie Safe Manager のウェルカム ページの右側にあるオプション [Click here to lock your device and secure all data (デバイスをロックしてすべてのデータを保護するにはここをクリック)] をクリックします (図 34)。ディスク アイコンが消去され、LED は赤色に点滅します。これはデバイスがロックされていることを示します。LaCie UTILITIES パーティションのソフトウェアまたはドキュメントにアクセスできるようになります。

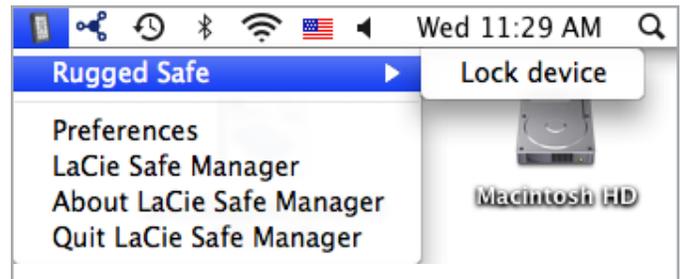


図 33

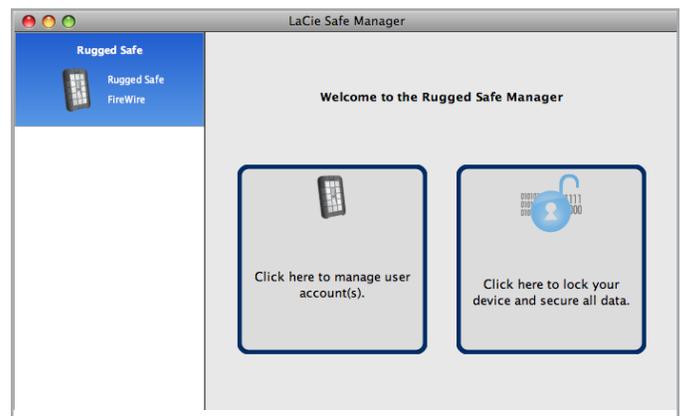


図 34

5.2. Rugged Safe の管理

5.2.1. Rugged Safe の [Administration (管理)] ページへのアクセス

ユーザーの追加、変更、削除などの管理作業を行うには、LaCie Safe Manager を開く必要があります。管理者はすべてのユーザーを変更できますが、管理者以外のユーザーは自分の設定のみを変更できます。[Administration (管理)] ページで変更中は、Rugged Safe をロック状態のままにすることができます。

1. [Windows をご使用の方](#): LaCie Safe Manager が開かれていない場合は、[スタート] メニューから起動するか、システムトレイの LaCie Safe Manager アイコンをクリックし、[Open LaCie Safe Manager (LaCie Safe Manager を開く)] をクリックします。「[4. LaCie Rugged Safe のセットアップ](#)」を参照してください。

[Mac をご使用の方](#): LaCie Safe Manager が開かれていない場合は、Applications フォルダから起動するか、メニューバーの LaCie Safe Manager アイコンをクリックし、[LaCie Safe Manager] をクリックします。「[4. LaCie Rugged Safe のセットアップ](#)」を参照してください。

2. 左側のオプション [Click here to manage user account(s) (ユーザー アカウントを管理するにはここをクリック)] をクリックします (図 35)。
3. ログイン名とパスワードを入力するよう指示されます (図 36)。

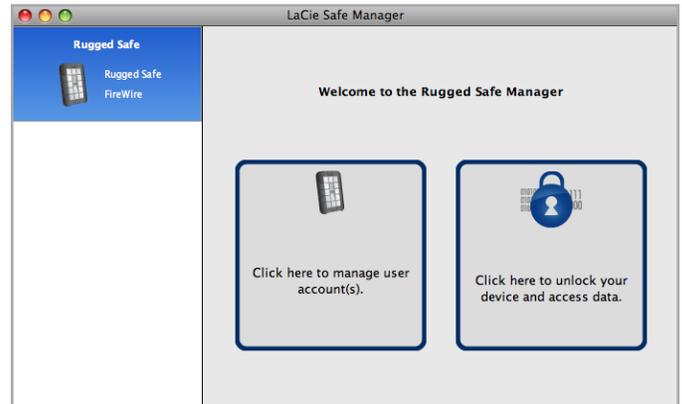


図 35

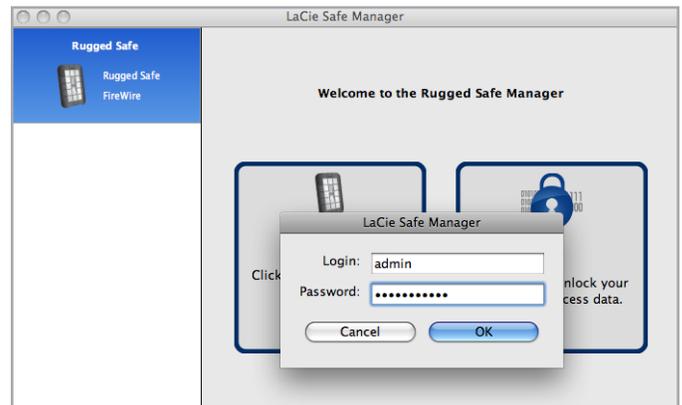


図 36

[次のページに続く >>](#)

4. ログインとパスワードが登録済みユーザーと一致しない場合、[Administration (管理)] ページが開きます (図 37 - 管理権限を持つユーザーの管理ページ および 図 38 - 管理権限を持たないユーザーの管理ページ)。

技術面での注意: デフォルトで、Rugged Safe に初めて登録されたユーザーは管理者になります。ただし、最初の設定後にユーザー権限を変更できます。

重要な情報: LaCie では、一人がオフィスにいなかったり忙しい場合に備えて、少なくとも 2 名に Administration (管理) 権限を付与することを強く推奨します。管理者が対応できないために、LaCie Rugged Safe 上のデータにアクセスできなくなった場合、LaCie は責任を負いません。

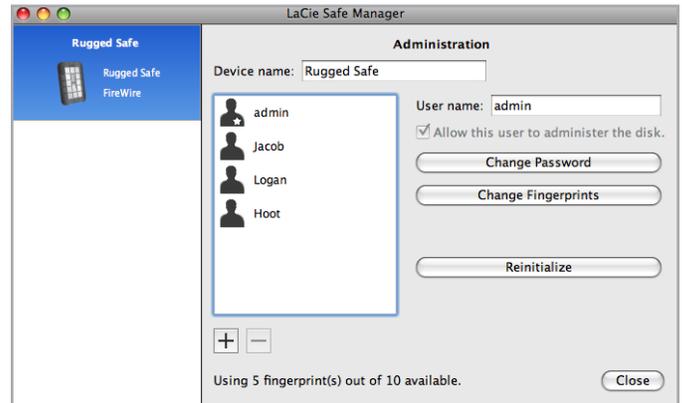


図 37 - 管理権限を持つユーザーの管理ページ

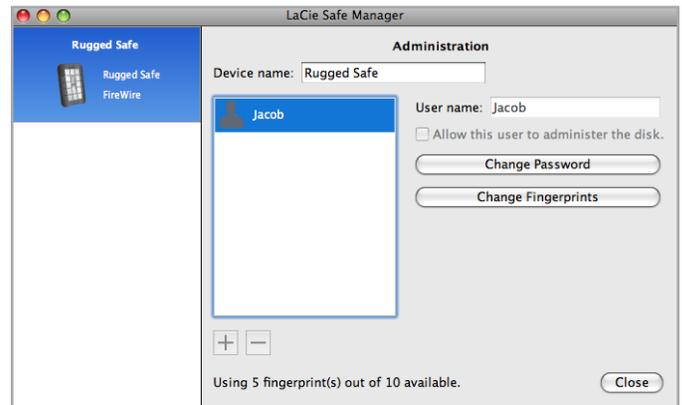


図 38 - 管理権限を持たないユーザーの管理ページ

5.2.2. [Administration (管理)] ページ

図 39 は、管理権限を使用して開いたときの [Administration (管理)] ページです。ユーザーの [Administration (管理)] ページの例については、「[図 38 - 管理権限を持たないユーザーの管理ページ](#)」を参照してください。

次の表は、各管理オプションとアクセス権限を持つユーザー（全ユーザー/管理者）に関する簡単な説明です。

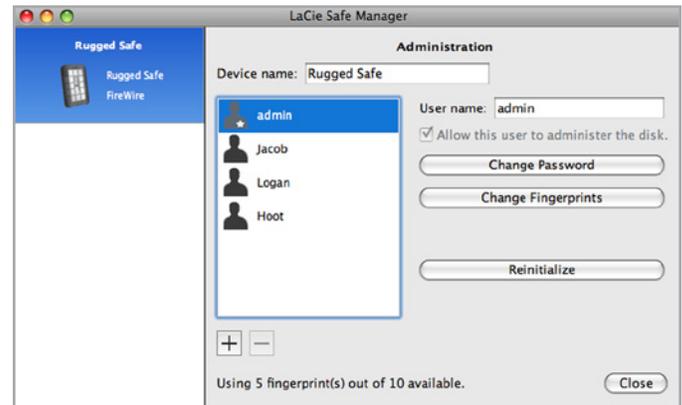


図 39

オプション	アクセス	説明
デバイス名	全ユーザー	<ul style="list-style-type: none"> ◆ デフォルト名は "Rugged Safe" ですが、すべてのユーザーがいつでも変更できる権限を持ちます。 ◆ これはパーティションの名前ではありません。
ユーザー名	管理者	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 管理者は、ユーザー名のいずれかをクリックしてログイン名を変更できます。 ◆ 例えば、管理者は初めて登録したユーザーのデフォルト ("admin") を自分の名前に変更する場合があります。同様に、管理者は別のユーザーを選択して名前を変更できます。 ◆ 管理者のみがユーザー名を変更できます。
このユーザーにこのディスクの管理を許可します。	管理者	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 管理者のみが管理者権限をユーザーに付与できます。詳しくは、「5.2.3. 管理権限の付与 (管理者のみ)」を参照してください。
パスワードの変更	全ユーザー	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ユーザーは自分のパスワードを変更できます。 ◆ 管理者は全ユーザーのパスワードを変更できます。
指紋の変更	全ユーザー	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 各ユーザーまたは管理者は、自分の指紋のみを変更できます。管理者は別のユーザーの指紋を変更できません。指紋の変更または追加の手順は、「4.2. ステップ 2: 最初のユーザーの指紋の登録」と同様です。 ◆ 登録されている指紋の数が 10 個未満の場合にのみ、指紋を追加できます。例えば、図 39 のページの下には [Using 5 fingerprint(s) out of 10 available (5/10 個の指紋が使用中)] という注記が表示されています。これは、5 個の指紋を追加で登録できることを意味します。 ◆ また、登録済みの指紋を削除することもできます。

オプション	アクセス	説明
再初期化	管理者	<ul style="list-style-type: none">◆ Rugged Safe を初期化すると、すべてのデータとすべてのユーザー情報が削除されます。データパーティションに残るファイル、ドキュメント、またはメディアはありません。デバイスの再初期化後は、新しいユーザーと管理者を作成する必要があります。「5.2.5. ディスクの再初期化 (管理者のみ)」を参照してください。◆ Utilities パーティションは、Rugged Safe の再初期化後に使用できるようになります。
+ & -	管理者	<ul style="list-style-type: none">◆ [+] をクリックしてユーザーを追加します。新しいユーザーの追加手順は、「4.1. ステップ 1: 最初のユーザーの登録」と同様です。◆ ユーザーを削除するには、ユーザーを選択し、[-] をクリックします。「5.2.4. ユーザーの削除 (管理者のみ)」を参照してください。

重要な情報: LaCie Rugged Safe に 10 個の指紋を登録すると、追加の指紋を作成するボタン ("+" 記号) はグレー表示されます。新しいユーザーを追加するには、既存の指紋を削除する必要があります。

5.2.3. 管理権限の付与 (管理者のみ)

1. 現在のユーザーのいずれかをクリックします。図 40 では Jacob というユーザーが選択されています。ユーザー アイコンに星印がないこと、およびオプション [Allow this user to administer the disk (このユーザーにディスクの管理を許可します)] が使用できるようになったことに注意してください。
2. [Allow this user to administer the disk (このユーザーにディスクの管理を許可します)] の横のボックスをオンにします。
3. LaCie Safe Manager でユーザー アカウントを変更し、Jacob に管理者権限を付与することができます。Jacob は管理者になると、アイコンに星印 (図 41) が表示されるようになります。

重要な情報: LaCie では、1 人がオフィスにいなかったり忙しい場合に備えて、少なくとも 2 名に Administration (管理) 権限を付与することを強く推奨します。管理者が対応できないために、LaCie Rugged Safe 上のデータにアクセスできなくなった場合、LaCie は責任を負いません。

5.2.4. ユーザーの削除 (管理者のみ)

ユーザーを削除するには、次の手順に従います。

1. メイン設定画面のユーザー リストからユーザー名を選択します。
2. "-" 記号をクリックします。
3. 確認のダイアログが開き (図 42)、ユーザーの削除を確認するメッセージが表示されます。 [Yes (はい)] をクリックして削除を確定入力します。この処理は取り消せません。

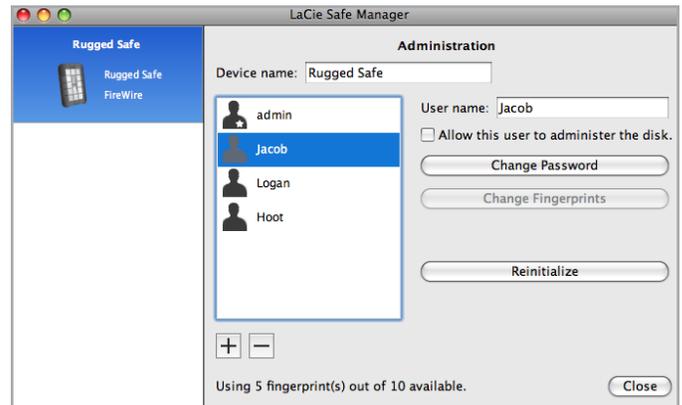


図 40



図 41



図 42

5.2.5. ディスクの再初期化 (管理者のみ)

ディスクを工場出荷時の設定にリセットするには、[Reinitialize (再初期化)] をクリックします。ディスクに保存されているすべてのユーザー情報とすべてのデータを削除することを確認するダイアログが開きます (図 43)。[Yes (はい)] をクリックして削除を確定入力します。ディスク上のすべてのファイルとユーザー情報が削除されます。この操作は解除できません。

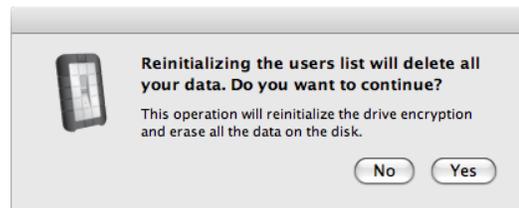


図 43

重要な注意: ドライブを再初期化すると暗号化キーが削除されるため、Rugged Safe を再配置する場合に適した操作です。

5.3. LaCie Safe Manager の起動設定

LaCie Safe Manager の起動方法を調整するには、メニュー バー (Mac の場合) の Rugged Safe アイコンを選択するか、システムトレイ (Windows の場合) のアイコンを右クリックします。 [Preferences (設定)] を選択します (図 44)。

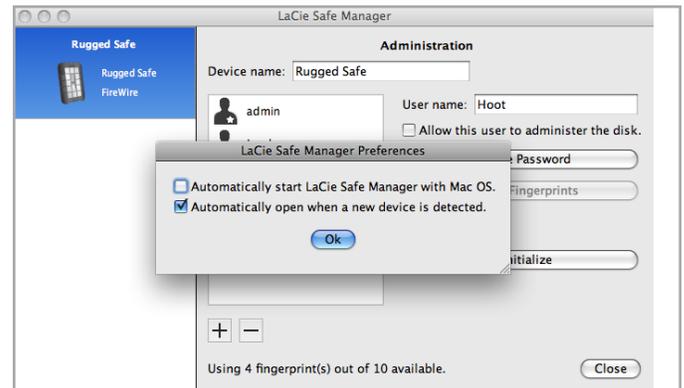


図 44

6. LaCie Rugged Safe のフォーマット

初めてユーザーを登録すると、LaCie Rugged Safe を FAT32 形式でフォーマットするかどうかを確認されます。FAT32 は、Mac と Windows オペレーティング システムでドライブを共有するときに最適なファイル システムです。特定のオペレーティング システムに最適なファイル システムで Rugged Safe を使用する場合は、ドライブを FAT32 でフォーマットしないこともできます。ファイル システムはいつでも変更できますが、フォーマット プロセスを実行すると、ディスク ドライブ上のすべてのデータが消去されます。

フォーマットとは

ディスクをフォーマットすると、ディスク上の管理情報の全消去、全セクタの信頼性を確認するためのディスクのテスト、不良セクタ（ひっかき傷が付いているセクタなど）のマーク、および後で情報の検索に使用する内部アドレス テーブルの作成が実行されます。LaCie Safe Manager は初めて使用するときにディスクをフォーマットする機能が用意されていますが、このセクションの指示に従って、実行しないことや再フォーマットすることができます。

フォーマットには、ハード ディスクを複数のセクション（パーティション）に分割するオプションもあります。パーティションとは、ファイルやデータを保存するために作成される、ハード ディスクのストレージ容量の区画です。LaCie では、複数のデータ パーティションに区切られた Rugged Safe の使用をサポートしていません。

6.1. Rugged Safe の 1 つのパーティション

LaCie では、複数のパーティションに区切られた Rugged Safe の使用をサポートしていません。Rugged Safe を複数のパーティションに分割すると、デバイスの操作時に問題が発生し、データが失われる可能性があります。

LaCie Safe Manager ではデバイスを 1 つの FAT32 パーティションにフォーマットしますが、HFS または NTFS のフォーマットを選択することもできます。フォーマット方法に関係なく、ディスクは複数のパーティションに分割しないでください。LaCie では最適なパフォーマンスを保証できません。また、データが失われる可能性があります。

ファイル システム フォーマット

ファイル システムには、FAT 32 (MS-DOS)、NTFS、および Mac OS 拡張 (HFS+) の 3 つのカテゴリがあります。詳しくは、次の表を参照してください。

次の場合は NTFS を使用します。

ディスクを Windows XP、または Windows Vista、または Windows 7 でのみ使用する場合。一般に FAT32 に比べ、高いパフォーマンスを得られます。このファイル システムは、Mac OS 10.3 以降では読み取り専用モードで対応しています。

次の場合は HFS+ を使用します。

ディスクを Mac OS のみで使用する場合、一般に FAT32 に比べ、高いパフォーマンスを得られます。このファイル システムは、Windows には対応していません。

次の場合は FAT32 を使用します。

Windows、および Mac OS 9.x または 10.x の両方でディスクを使用する場合。

技術面での注意: FAT32 (MS-DOS) は、Mac と Windows でハード ディスクを共有する場合にお勧めします。ただし、FAT32 ファイル システムは、一般的に HFS+ (Mac) または NTFS (Windows) よりも低速です。FAT32 には 1 ファイル 4 GB というサイズの制限もあります。

重要な情報: 再フォーマットするとハード ディスクから全データが消去されます。再フォーマットする前に、保存するデータをバックアップしてください。

6.2. LaCie Rugged Safe のフォーマット

6.2.1. Windows XP をご使用の方

ここでは、Windows XP を使用してディスク ドライブのフォーマットやパーティション設定を行う手順を説明します。別のオペレーティング システムを使用してフォーマットする手順については、「6.2.2. Windows Vista および Windows 7 をご使用の方」または「6.2.3. Mac をご使用の方」を参照してください。最適なファイル フォーマットについては、「6. LaCie Rugged Safe のフォーマット」を参照してください。

注意: この手順に従うと、ハード ディスクから全データが消去されます。ディスクをフォーマットする前に、保存するすべてのデータのバックアップを作成します。

1. インタフェース ポートを介して、ドライブをコンピュータに接続します。
2. [マイ コンピュータ] を右クリックして、[管理] を選択します。
3. [コンピュータの管理] ウィンドウから [ディスクの管理] を選択します ([ディスクの管理] は、[記憶域] グループの下にあります)。
4. [ディスクの初期化と変換ウィザード] ウィンドウが表示されたら、[キャンセル] をクリックします。
5. システムにインストールされているハード ドライブが一覧表示されます。LaCie ハード ディスク ドライブを見つけます (図 45)。赤色の丸に白色の線が示されている記号がある場合、そのハード ディスクを初期化する必要があります。アイコンを右クリックし、[初期化] を選択します。
6. [未割り当て] と表示されている右側の四角いボックスで、または以前にフォーマットしたときのパーティションの一覧から、[新しいパーティション...] を選択します。
7. [新しいパーティション ウィザード] の最初のページで [次へ] をクリックします (図 46)。
8. [プライマリ] または [拡張] オプション (図 47) を選択し、[次へ] をクリックします。

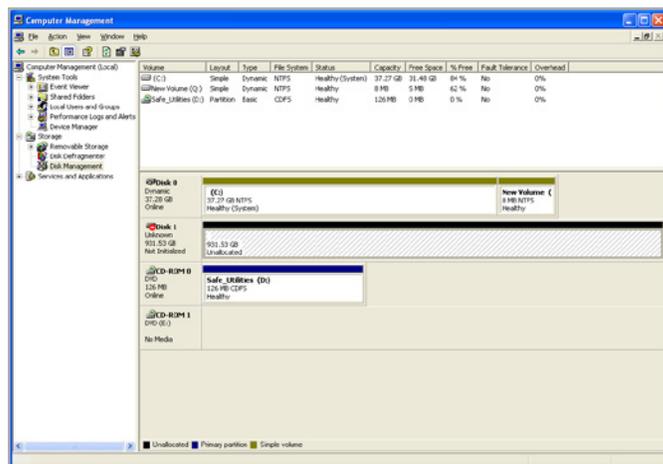


図 45

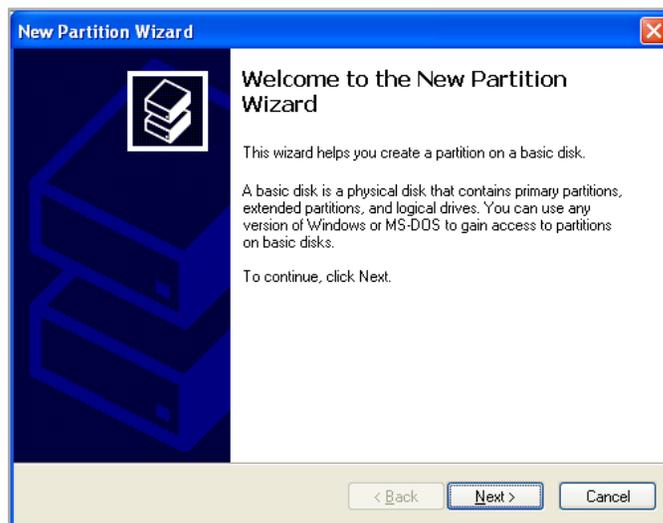


図 46

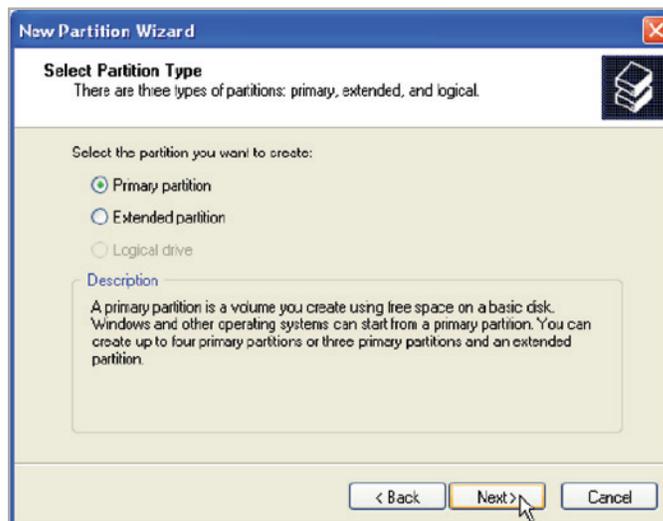


図 47

9. パーティションのサイズを指定します。 デフォルトでは、全ボリュームを占めるパーティション サイズが表示されますが (図 48) 作業環境に応じてサイズを変更できません。 [次へ] をクリックします。

重要な情報: LaCie では、複数のパーティションに区切られた Rugged Safe の使用をサポートしていません。 詳しくは、「6.1. Rugged Safe の 1 つのパーティション」を参照してください。

10. ドライブ文字またはマウント パスを割り当てます (図 49) 。 [次へ] をクリックします。
11. ドライブのフォーマット形式を選択します (パーティションが 32GB 以下の場合、オプションとして FAT32 だけが表示されます)。「6. LaCie Rugged Safe のフォーマット」を参照してください。 FAT32 または NTFS を選択すると (図 50)、フォーマットを大幅に高速化するための [クイック フォーマットする] オプションを選択できます。 クイック フォーマットでは、[ディスクの管理] による広範なドライブのエラー チェックは行われませんが、時間を節約できます。 [次へ] をクリックします。

[次のページに続く >>](#)

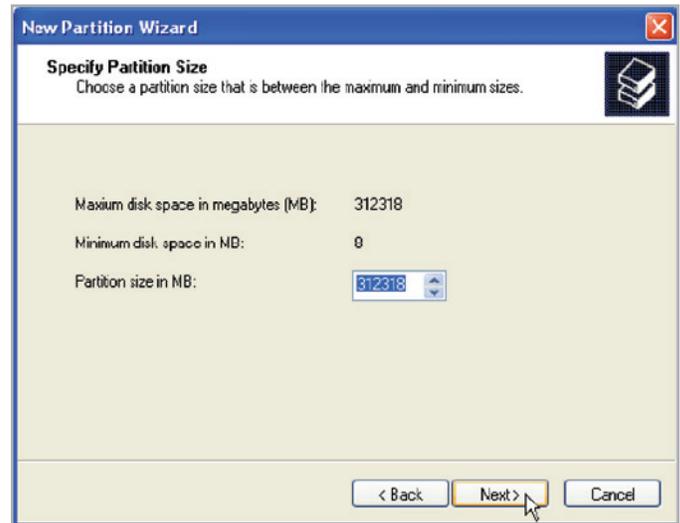


図 48

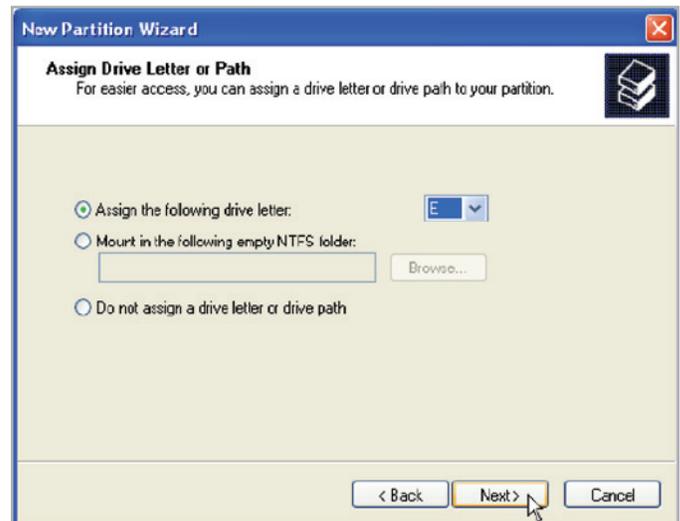


図 49

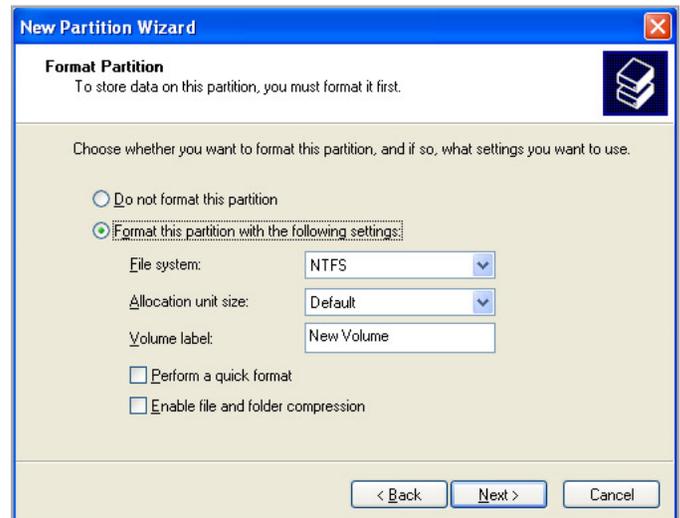


図 50

12. ウィンドウが開き、選択できるオプションの一覧が表示されます。設定内容に問題がなければ、[完了] をクリックし、フォーマット処理を開始します (図 51)。変更を加える場合は、[戻る] を選択します。
13. ドライブのパーティションが、[ディスク管理] のドライブの一覧で [正常] ステータスとして表示されます (図 52)。また、[マイ コンピュータ] にもドライブのパーティションが表示されるようになります。これで、ドライブを使用する準備が整いました。

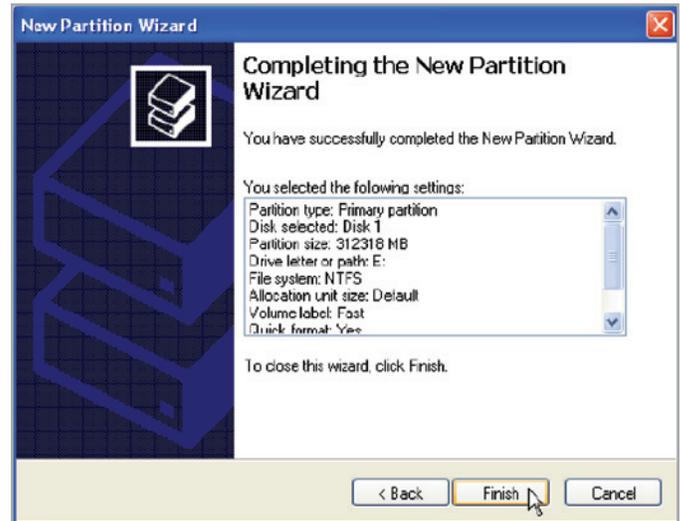


図 51

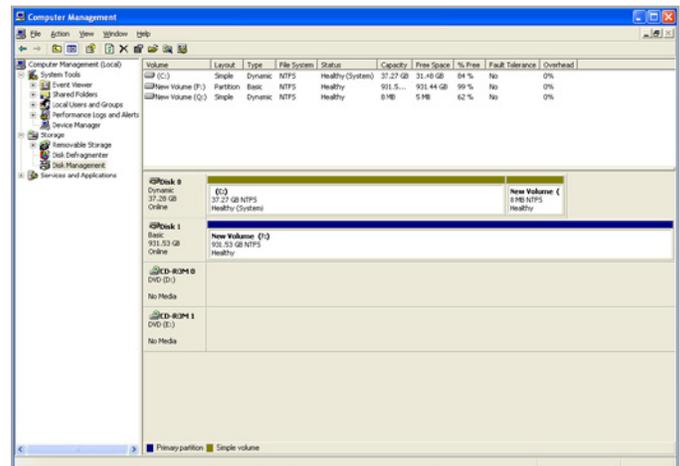


図 52

6.2.2. Windows Vista および Windows 7 をご使用の方

マスター ブート レコードまたは GUID パーティション テーブルとは？

マスター ブート レコード (MBR) のパーティションは、長年の間、ハード ドライブの標準でした。最高 4 個のプライマリ パーティションをサポートしています。各パーティションには 2 TB というサイズ制限があります。ハード ディスク ドライブのサイズの拡張という点ではパーティションの制限があるため、パーティション数と容量を考慮できるように Global Unique Identifier Partition Tables (GPT) が確立されました。さらに、GPT には、パフォーマンスを強化できる追加の利点があります。

ただし、GPT は Windows XP 32 ビットと互換性がありません。Windows XP 64 ビットは GPT をサポートしますが、LaCie デバイスを Windows XP 32 ビットを実行するコンピュータと共有する予定の場合は、MBR を使用するのが最適です。

MBR から GPT への切り替え、またはその反対の GPT から MBR への切り替えは困難ではありません。パーティション テーブル フォーマットの調整は破壊的プロセスなので、変更する前に、別のディスクに重要なデータをすべてコピーしてください。

[コンピュータ] を右クリックし、[管理] をクリックします。[管理] ウィンドウの [ディスク管理] を選択肢、LaCie ディスク ドライブを検索します。ディスク番号を右クリックして GPT (図 54) または MBR (図 55) を選択します。

Windows Vista または Windows 7 を使用してディスク ドライブのフォーマットとパーティションの分割を行うには、以下の手順に従います。別のオペレーティング システムを使用してフォーマットする手順については、「6.2.1. Windows XP をご使用の方」または「6.2.3. Mac をご使用の方」を参照してください。最適なファイル フォーマットについては、「6. LaCie Rugged Safe のフォーマット」を参照してください。

1. [コンピュータ] を右クリックし、[管理] をクリックします。[管理] ウィンドウで、[ディスクの管理] を選択します。
2. [ディスク管理] ウィンドウにあるドライブ リストから、お使いの LaCie ハード ディスクを右クリックします。[新しいシンプル ボリューム...] を選択します (図 53)。

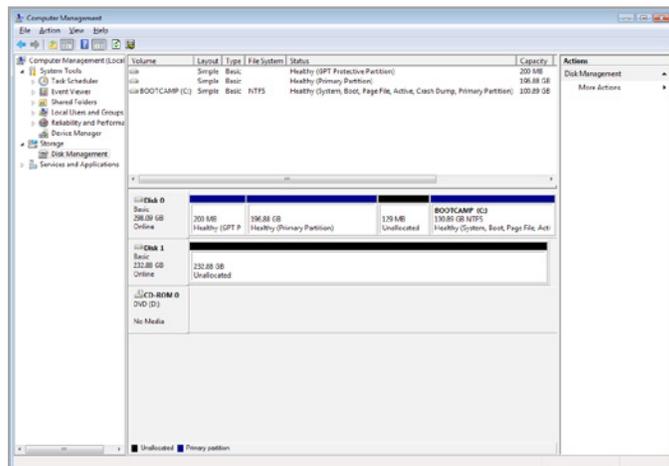


図 53

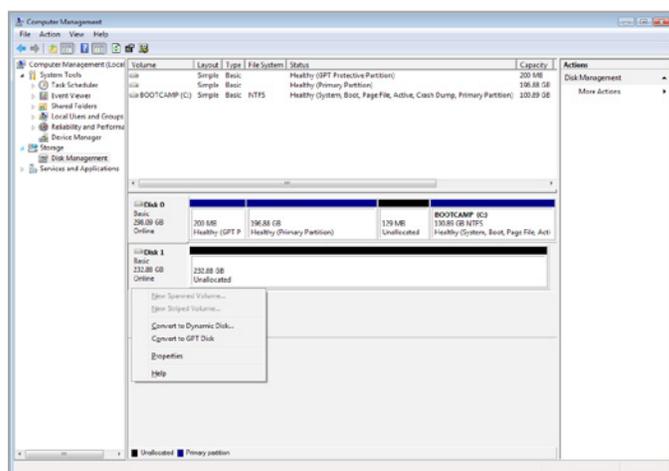


図 54

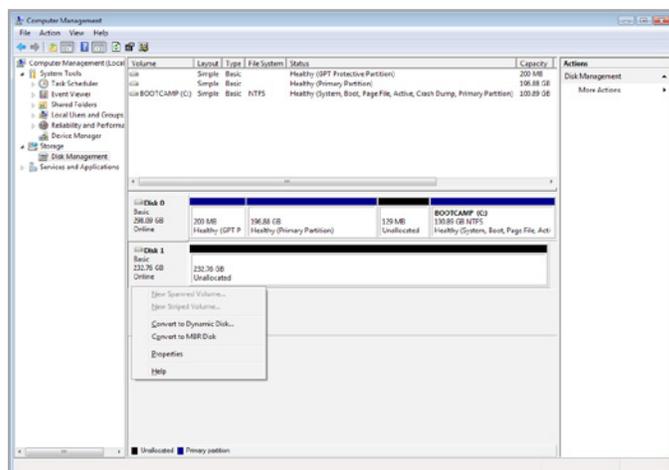


図 55

次のページに続く >>

3. 新しいシンプル ポリリューム ウィザードが表示されます。続行するには、[次へ >] を選択します (図 56)。
4. このウィザードを使用して、ポリリューム (「パーティション」とも呼ばれます) を作成できます。1 つのパーティションを作成することも、複数のパーティションを作成することもできます。作成するパーティションのサイズをメガバイト (MB) 単位で入力します。例えば、100GB (ギガバイト) パーティションは 100000MB です。FAT32 パーティションを作成する場合、サイズは 32GB (32000MB) を超えることはできません (図 57)。パーティションのサイズを選択したら、[Next (次へ)] を選択します。

重要な情報: LaCie では、複数のパーティションに区切られた Rugged Safe の使用をサポートしていません。詳しくは、「6.1. Rugged Safe の 1 つのパーティション」を参照してください。

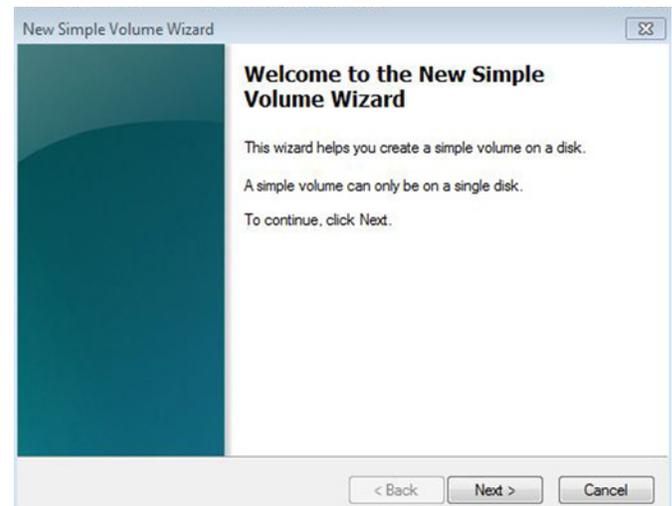


図 56

次のページに続く >>

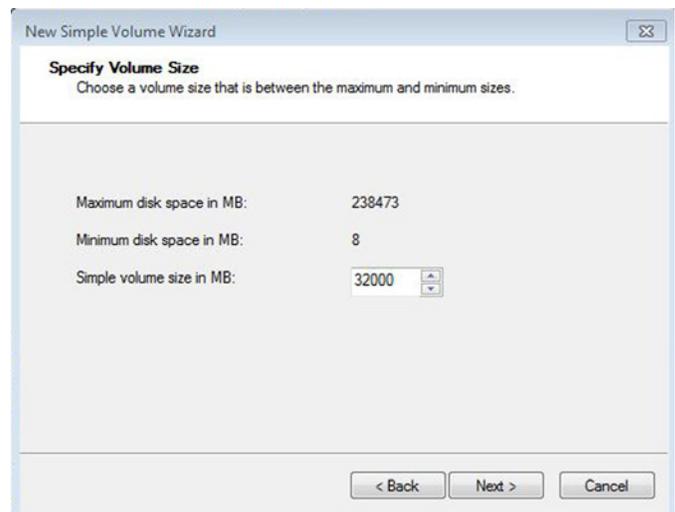


図 57

5. ドライブ文字を割り当てるか、デフォルト設定を受け入れます (図 58)。[Next (次へ)] を選択します。
6. パーティションのファイル システム フォーマット形式を選択します。パーティション サイズが 32GB 以下であると、選択オプションには NTFS と FAT32 も含まれます。フォーマットを選択すると、[クイック フォーマットする] をオンにして、高速なフォーマットを実行できます。クイック フォーマットでは、[ディスクの管理] による広範なドライブのエラー チェックは行われませんが、時間を節約できます (図 59)。[Next (次へ)] を選択します。

[次のページに続く >>](#)

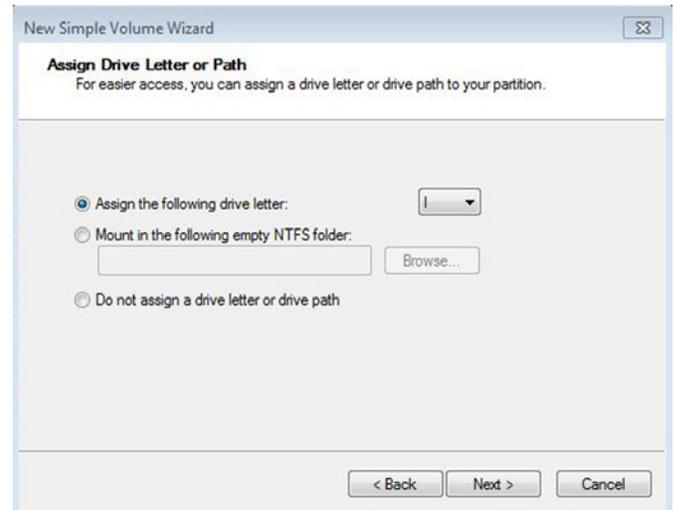


図 58

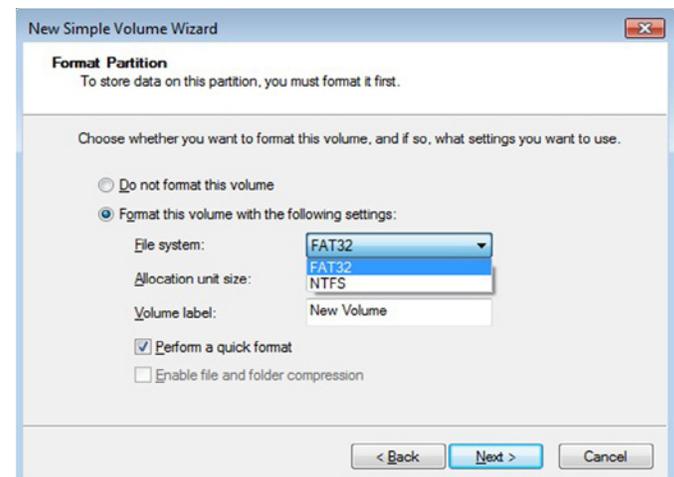


図 59

技術面での注意: Windows Vista SP1 と Windows 7 では、exFAT ファイル システムが提供されます。このファイル システムでは、32GB 未満のサイズのパーティションに対する制限はありません (図 60)。主に USB フラッシュ ドライブに使用されてきた exFAT ファイル システムは、FAT32 の数多くの制限を克服しました。exFAT ファイル システムは、Windows Vista SP1 と Windows 7 だけでなく、専用のドライバを使用すれば Windows XP SP2 でも機能します。Mac OS の対応には問題があり、Windows と Apple のオペレーティング システム間で LaCie ディスクを共有する場合には制限があります。exFAT ファイル システムで Rugged Safe を使用する場合は、LaCie はサポートしていません。

7. 最後のウィンドウに、選択したフォーマット オプションの概要が表示されます。設定内容に問題がなければ、[完了] をクリックし、フォーマット処理を開始します (図 61)。

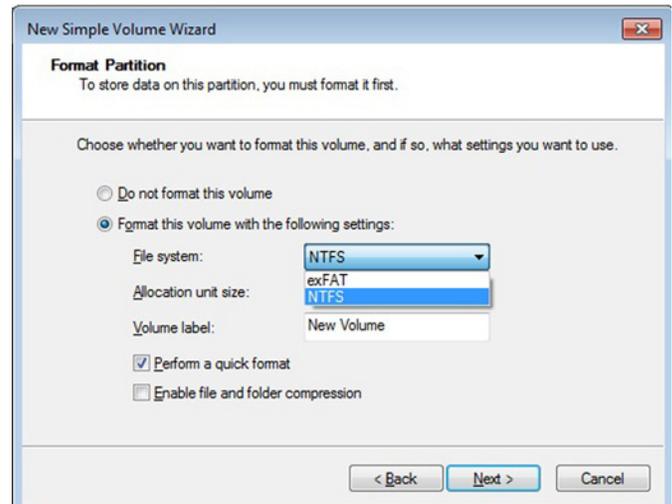


図 60



図 61

6.2.3. Mac をご使用の方

Mac OS X を使用してディスク ドライブのフォーマットとパーティションの分割を行うには、以下の手順に従います。別のオペレーティング システムを使用してフォーマットする手順については、「6.2.1. Windows XP をご使用の方」または「6.2.2. Windows Vista および Windows 7 をご使用の方」を参照してください。最適なファイル フォーマットについては、「6. LaCie Rugged Safe のフォーマット」を参照してください。

注意: この手順に従うと、ハード ディスクから全データが消去されます。保護するデータまたは使用し続けるデータをすべてバックアップしてから、ディスク ドライブをフォーマットしてください。

1. インタフェース ポートを介して、ドライブをコンピュータに接続します。
2. [Finder] メニュー バーの [移動] から [ユーティリティ] を選択します。
3. [ユーティリティ] フォルダで、[ディスク ユティリティ] をダブルクリックします。
4. [ディスク ユティリティ] ウィンドウが開きます (図 62)。ウィンドウの左側に表示される使用可能なハード ディスク一覧から、LaCie ハード ディスク ドライブを選択します。
5. [パーティション] タブをクリックします (図 63)。

次のページに続く >>

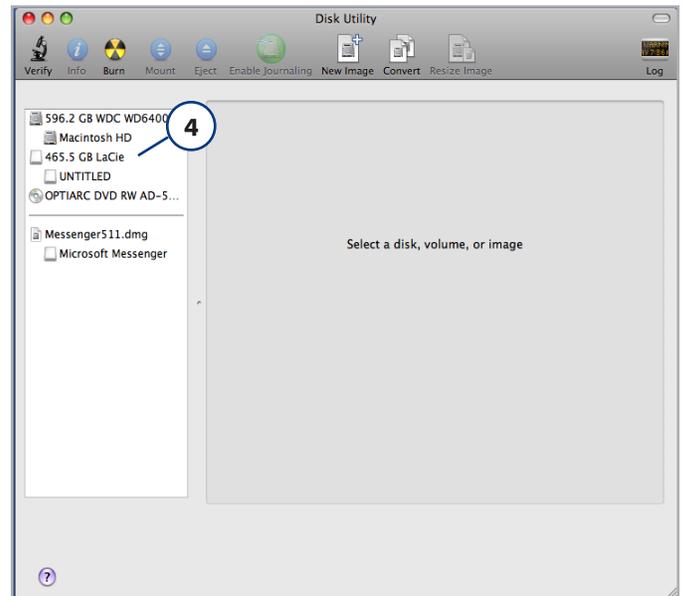


図 62

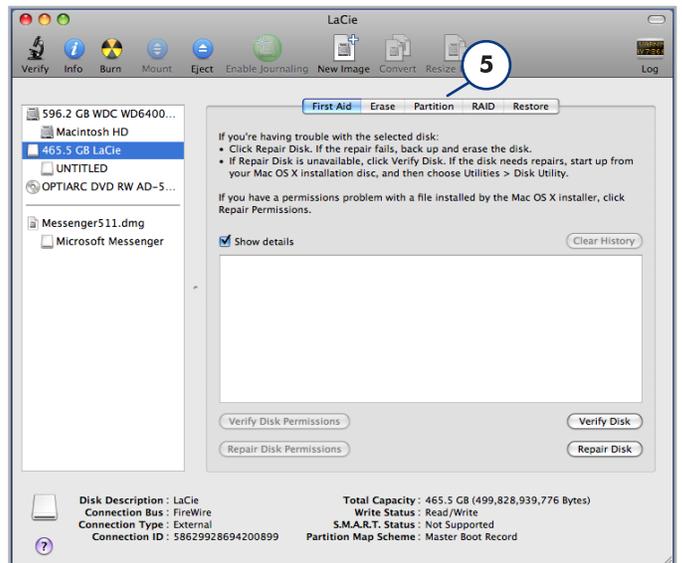


図 63

重要な情報: LaCie では、複数のパーティションに区切られた Rugged Safe の使用をサポートしていません。詳しくは、「6.1. Rugged Safe の 1 つのパーティション」を参照してください。

- [ボリューム スキーム:] メニューで、プルダウン メニューを使用してディスク ドライブのパーティション数を選択します (図 64 (6a) - Mac OS X には、ドライブを最高 16 パーティションに分割できるオプションがあります)。[ボリュームの方式:] 領域にあるパーティション間のスライド バーを使用すれば、パーティションのサイズを調整できます (図 64 (6b))。また、[サイズ] ボックスで手動でサイズを指定することもできます (図 64 (6c))。
- [ボリューム スキーム] のボリューム (パーティション) をクリックすると、[ボリューム情報] に名前を入力できるようになります (図 64 (7a))。[ボリューム フォーマット] プルダウン リスト (図 64 (7b)) から、次の Mac フォーマットの 1 つを選択します。Mac OS 拡張 (Journaled)、Mac OS 拡張 (Journaled)、Mac OS 拡張 (大文字と小文字を区別)、または 空き領域 を選択します。パーティション FAT32 をフォーマットするには、パーティション リストの下にある [Options...(オプション...)] を選択します (図 64 (7c))。また、マスター ブート レコードのラジオ ボタンを選択します (図 65)。フォーマットのプルダウン リストに [MS-DOS (FAT)] が表示されます (図 64 (7b))。
- ボリュームのオプション設定が完了したら、[Apply (適用)] をクリックします (図 64 (8a))。メッセージが表示されたら [Partition (パーティション)] をクリックします (図 66)。
- Disk Utility が、選択した設定に従ってパーティションとフォーマットを行います。完了すると、デスクトップにパーティションが表示されます。これは、ディスク ドライブを使用する準備が整ったことを示します。

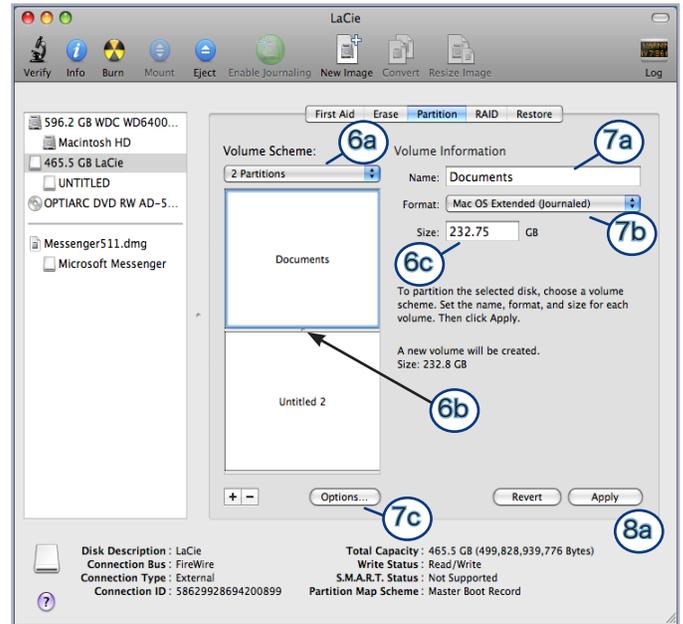


図 64

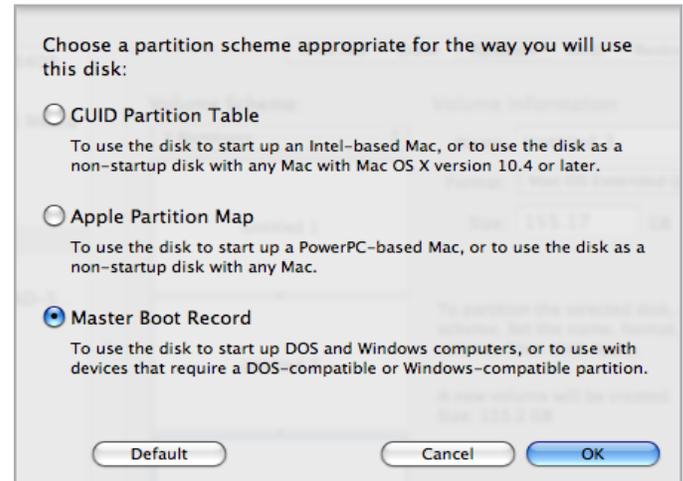


図 65



図 66

7. よくある質問 (FAQ)

質問	回答
LaCie Rugged Safe 使用できるオペレーティング システムは何ですか？	LaCie Rugged Safe は最新バージョンの Windows XP、Windows Vista、および Windows 7 と、最新バージョンの Mac OS 10.5 および 10.6 で使用できます。
いくつまで指紋を登録できますか？	最高 10 個の指紋を登録できます。
Rugged Safe ディスクにアクセスできるユーザーは何人までですか？	最高 10 人（うち 1 名以上の管理者を含みます）のユーザーが単一の Rugged Safe にアクセスできます。複数のユーザーに管理者権限を付与できます。1 人では常に対応できるとは限らないため、管理者を 2 人以上にすることを勧めます。
指をスワイプしても Rugged Safe ディスクのロックが解除されません。どうすればいいですか？	<ul style="list-style-type: none">◆ 正しい方向で指をスワイプしていること（ドライブの正面をこちらに向けます）、および 1 秒以上、5 秒未満、センサーに触れていることを確認します。◆ LaCie Rugged Safe をコンピュータに接続してから、数秒待つ必要があります。◆ ユーザー登録が完了したこと、および正しい指を使っていることを管理者に確認してください。◆ センサーを乾いた柔らかい布で拭き、USB 2.0 または FireWire 800 ケーブルを再接続してみてください。 問題が続く場合、「 8.2. 指紋センサーのトラブルシューティング 」のセクションを参照してください。
管理者を変更するにはどうすればいいですか？	管理者は LaCie Safe Manager の [Administration (管理)] ページで変更できます（「 5.2. Rugged Safe の管理 」）。
認可ユーザーを変更するにはどうすればいいですか？	管理権限があるユーザーのみがユーザーの追加または削除を行うことができます。
Rugged Safe に保存されたデータのバックアップ コピーを取る必要がありますか？	少なくとも 1 つのデータのバックアップを取ることを勧めます。バックアップを容易にするために、本製品には Intego for Mac および Genie for Windows が付属しています。
Rugged Safe を共有するすべてのコンピュータに LaCie Safe Manager をインストールする必要はありますか？	いいえ、Rugged Safe を複数のコンピュータで実行するのに特別なソフトウェアは一切必要ありません。「 3. LaCie Rugged Safe の接続 」の指示に従ってコンピュータに Rugged Safe ディスクを接続するだけで、認可ユーザーはセンサーに指をスワイプしてディスクにアクセスできるようになります。認可ユーザーが指をスワイプするまで、[マイ コンピュータ] / [コンピュータ] (Windows の場合) またはデスクトップ (Mac の場合) にディスクは表示されません。
ユーザーは自分のプロファイルを変更したり他のユーザーを削除できますか？	管理権限のあるユーザーのみが、ユーザーの追加または削除、およびユーザー プロファイルの変更を行うことができます。管理権限がないユーザーは、自分の指紋とパスワードを変更できます。
指紋は Rugged Safe に保存されますか？	指紋の認識用データは、暗号化されてドライブの上にローカルに保存されます。このデータはコピーできません。コピーしても破損します。
Rugged Safe のケースを開くことはできますか？	Rugged Safe のケースを取り外すと、製品保証の対象外になります。

質問	回答
非認証ユーザーの指紋で Rugged Safe のロックを解除できる確率はどの程度ですか？	バイOMETRICS技術のため、そのようなことはほとんど不可能です。人間は個々に独自の生物学的アイデンティティを持っています。例えば、独自の指紋などです。そのため、権限がないユーザーのアクセスはほとんど不可能です。さらに確実にするために、LaCie では精度に定評があるセンサーを選択しました。
指紋センサーに障害が発生したらどうしたらいいですか？	LaCie カスタム サポートに連絡してください。Rugged Safe を返却する必要がある場合は、必ず保存されているすべてのバックアップを取ってください。
管理者がいないときはどうすればいいですか？	LaCie では、1 人がオフィスにいなかったり忙しい場合に備えて、少なくとも 2 名にAdministration (管理)権限を付与することを強く推奨します。管理者が対応できず、LaCie Rugged Safe 上のデータにアクセスできなくなった場合、Rugged Safe では責任を負いません。
Rugged Safe はネットワーク上で使用できますか？	LaCie Rugged Safe は USB 2.0 または FireWire 800/400 インタフェースでのみ使用できます。
LED の色は何を示していますか？	LED の状態: <ul style="list-style-type: none">◆ 赤色に点滅: ディスクはロックされ、認可ユーザーが登録済みの指をスワイプする操作を待機しています。または指のスワイプに失敗しました。◆ オレンジ色の点灯: ディスクは指紋認識を試行中です◆ 緑色の点灯: ドライブのロックは解除されています◆ 緑色の点滅: データにアクセス中です

8. トラブルシューティング

LaCie Rugged Safe が正常に機能しない場合は、次のチェックリストを参照し、問題の原因をご確認ください。チェックリストの内容をすべて確認してもハードディスクが正常に動作しない場合は、当社 Web サイト www.lacie.co.jp に公開されている FAQ をご一読ください。

FAQ の中から質問の回答が見つかる場合があります。また、ドライバ ページにアクセスして、最新の更新ソフトウェアを検索することもお勧めします。さらにサポートが必要な場合は、LaCie 販売代理店または LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください (詳しくは、「9. カスタム サポートへのお問い合わせ」を参照してください)。

マニュアルの更新

LaCie では、市場の先端に行く包括的なユーザー マニュアルをお届けできるよう、常に努めています。新しいデバイスを迅速にインストールしてさまざまな機能を利用できるように役立つ、フレンドリーで使いやすいフォーマットをお客様に提供することが、当社の目標です。

お買い求めになられた製品の構成がマニュアルに記載されていない場合は、当社 Web サイトをご覧ください、入手可能な最新のバージョンのマニュアルをご確認ください。

www.lacie.jp

8.1. ハード ディスクのトラブルシューティング

8.1.1. Mac をご使用の方

問題	質問	回答
コンピュータがドライブを認識しない。	ドライブのアイコンがデスクトップに表示されていますか？	LaCie ハード ディスクのアイコンがデスクトップに表示されていなければなりません。ドライブが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	お使いのコンピュータは、本製品を使用するための最低システム要件を満たしていますか？	詳しくは、「1.4. 最小システム要件」を参照してください。
	デバイスに適切な電力が供給されていますか？	オプションの電力共有ケーブルを接続してください。詳しくは、「3.3. オプションの電力共有ケーブルを接続する (USB)」を参照してください。
	インタフェースと OS に適した手順でインストールを行いましたか？	「3.1. インタフェース ケーブルの接続」でインストール手順を再度確認してください。
	インタフェース ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか？	FireWire または USB ケーブルの両端を調べ、両端がそれぞれのポートに正しく取り付けられていることを確認してください。ケーブルの接続を外し、10 秒待ってから、再接続してください。それでもドライブが認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。
	ディスクのロックは解除されていますか？	「5. LaCie Rugged Safe の使用」を参照してください。

問題	質問	回答
コンピュータがドライブを認識しない。	USB ドライバ/FireWire が正しくインストールされ、使用可能な状態になっていますか。	Apple の [システム プロファイラ] を開き、[装置とボリューム] タブをクリックします。デバイスがリストに表示されない場合は、ケーブルを再度チェックし、ここに記載されているその他のトラブルシューティングのヒントを試してみてください。
	その他のデバイス ドライバまたは機能拡張と競合していませんか？	LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。
コンピュータがドライブを認識しない。	ドライブはフォーマットされていますか？	ドライブが正しくフォーマットされているかどうかを確認してください。詳しくは、「 6. LaCie Rugged Safe のフォーマット 」を参照してください。
	お使いのコンピュータの OS では、ファイル システムがサポートされていますか？	詳しくは、コンピュータのマニュアルをチェックし、「 6. LaCie Rugged Safe のフォーマット 」を参照してください。
コンピュータの電源をオン/オフすると同時に、ドライブの電源がオン/オフになります。	これは正常です。ドライブにオート電源スイッチ機能があります。つまり、コンピュータの電源を入れると、ドライブも自動的に電源が入ります。同様に、コンピュータを停止するとドライブは自動的にオフになります。オート電源スイッチ機能を使用するには、ドライブをコンピュータに接続する必要があります。コンピュータに接続した状態でディスクの電源をオフにする場合、まずコンピュータがディスクにアクセスしていないことを確認し、次に 3.5. ハード ディスクの取り外し の手順に従ってください。コンピュータがスリープ モードに移行すると、またはシャット ダウンすると、毎回 Rugged Safe は自動的にロックされます。	
Mac OS 10.x でエラー メッセージが表示される。	FAT32 ボリュームへのコピー中、「Error -50」というメッセージが表示されましたか？	ファイルまたはフォルダを Mac OS 10.x から FAT32 ボリュームにコピーすると、一部の文字はコピーされません。対応していない文字には次のようなものがありますが、これだけには限りません。 。 <>/\ : ファイルとフォルダを調べ、このような文字が使われていないことを確認してください。
	スリープ モードからの復旧時に、ドライブが取り外されたことを伝えるエラー メッセージが表示されましたか？	このメッセージは無視していただいて結構です。ドライブがデスクトップに再マウントされます。コンピュータをスリープ モードに設定すると、LaCie ドライブはスピンドウンして電源を節約します。コンピュータをスリープ モードから「ウェークアップ」すると、LaCie ドライブはスリープ モードからスピンアップするために少し時間がかかる場合があります。
ドライブの動作が遅い。	その他の USB または FireWire デバイスが、同じポートまたはハブに接続されていますか。	他の USB または FireWire デバイスをすべて取り外し、ドライブのパフォーマンスが改善されるかどうかを確認してください。

問題	質問	回答
Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、デバイスのスピードが明らかに速くならない。	Mac OS 10.x で使用していますか？	Hi-Speed USB 2.0 転送レートを達成するには、コンピュータにネイティブ USB 2.0 ポートが必要です。また、場合によっては、Hi-Speed USB 2.0 PCI カード (デスクトップ) または USB 2.0 PCMCIA (ラップトップ) カードをコンピュータに追加する必要があります。
	ドライブがコンピュータの USB ポートに接続されていますか、それとも USB ハブに接続されていますか？	ドライブをコンピュータの USB ポートまたはハブに接続している場合は、この状態で正常です。Hi-Speed USB 2.0 デバイスは Hi-Speed USB 2.0 ポートまたはハブに接続された場合のみ、Hi-Speed USB 2.0 のパフォーマンス レベルで動作します。これ以外の場合、Hi-Speed USB 2.0 デバイスは低速の USB の転送速度で動作します。
	ドライブはコンピュータの Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されていますか？	ホスト バス アダプタとデバイスの両方の Hi-Speed USB 2.0 ドライバが正しくインストールされているかどうかを確認してください。不確かな場合は、ドライバをアンインストールして、再度インストールしてください。
Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、デバイスのスピードが明らかに速くならない。	お使いのコンピュータまたは OS で、Hi-Speed USB 2.0 がサポートされていますか？	1.4. 最小システム要件 を参照してください。

8.1.2. Windows をご使用の方

問題	質問	回答
コンピュータがドライブを認識しない。	ドライブはフォーマットされていますか？	ドライブが正しくフォーマットされているかどうかを確認してください。詳しくは、「 6. LaCie Rugged Safe のフォーマット 」を参照してください。
	お使いのコンピュータの OS では、ファイル システムがサポートされていますか？	詳しくは、コンピュータのマニュアルをチェックし、「 6. LaCie Rugged Safe のフォーマット 」を参照してください。
	LaCie d2 Hard Drive Serial ATA のアイコンが [マイ コンピュータ]/[コンピュータ] に表示されていますか？	[マイ コンピュータ]/[コンピュータ] を開き、ドライブのアイコンと LaCie ドライブに割り当てられているドライブ文字を探します。ドライブが表示されない場合は、この後に記載されているトラブルシューティングのヒントをすべて読んで、問題を解決してください。
	お使いのコンピュータは、本製品を使用するための最低システム要件を満たしていますか？	詳しくは、「 1.4. 最小システム要件 」を参照してください。
	デバイスに適切な電力が供給されていますか？	オプションの電力共有ケーブルを接続してください (「 3.3. オプションの電力共有ケーブルを接続する (USB) 」)。

問題	質問	回答
コンピュータがドライブを認識しない。	インタフェースと OS に適した手順でインストールを行いましたか？	「 3. LaCie Rugged Safe の接続 」でインストール手順を再度確認してください。
	FireWire または USB ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか？	FireWire または USB ケーブルの両端を調べ、両端がそれぞれのポートに正しく取り付けられていることを確認してください。ケーブルの接続を外し、10 秒待ってから、再接続してください。それでもドライブが認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。
	ディスクのロックは解除されていますか？	「 5. LaCie Rugged Safe の使用 」を参照してください。
コンピュータがドライブを認識しない。	FireWire または USB ドライバが正しくインストールされ、使用可能な状態になっていますか？	<p>Windows XP をご使用の方: [スタート] メニュー > [コントロール パネル] > [パフォーマンスとメンテナンス] > [システム] > [ハードウェア] タブ > [デバイス マネージャ] ボタン > [USB コントローラ] または [IEEE 1394 コントローラ] を開いてください。コントローラのアイコンの隣にある「+」印をクリックし、デバイスがリストに表示されていることを必ず確認してください。</p> <p>Windows Vista: [スタート] メニュー > [コントロール パネル] > [デバイス マネージャ] > [USB コントローラ] または [IEEE 1394 コントローラ] を開きます。コントローラのアイコンの隣にある「+」印をクリックし、デバイスがリストに表示されていることを必ず確認してください。</p> <p>Windows 7: [スタート] メニュー > [コントロール パネル] > [デバイス マネージャ] > [USB コントローラ] または [IEEE 1394 バス ホスト コントローラ] を開きます。コントローラのアイコンの隣にある「+」印をクリックし、デバイスがリストに表示されていることを必ず確認してください。</p> <p>それでもデバイスが表示されない場合は、ケーブルを再度チェックし、ここに記載されているその他のトラブルシューティングのヒントを試してみてください。</p>
	その他のデバイス ドライバまたは機能拡張と競合していませんか？	LaCie テクニカル サポートにお問い合わせください。
コンピュータの電源をオン/オフすると同時に、ドライブの電源がオン/オフになります。	これは正常です。ドライブにオート電源スイッチ機能があります。つまり、コンピュータの電源を入れると、ドライブも自動的に電源が入ります。同様に、コンピュータを停止するとドライブは自動的にオフになります。オート電源スイッチ機能を使用するには、ドライブをコンピュータに接続する必要があります。コンピュータに接続した状態でディスクの電源をオフにする場合、まずコンピュータがディスクにアクセスしていないことを確認し、次に 3.5. ハード ディスクの取り外し の手順に従ってください。コンピュータがスタンバイ モードに移行すると、またはシャット ダウンすると、毎回 Rugged Safe は自動的にロックされます。	

問題	質問	回答
ドライブの動作が遅い。	その他の USB または FireWire デバイスが、同じポートまたはハブに接続されていますか？	他の USB または FireWire デバイスをすべて取り外し、ドライブのパフォーマンスが改善されるかどうかを確認してください。
Hi-Speed USB 2.0 を介して接続しても、デバイスのスピードが明らかに速くならない。	ドライブがコンピュータの USB ポートに接続されていますか、それとも USB ハブに接続されていますか？	ドライブをコンピュータの USB ポートまたはハブに接続している場合は、この状態で正常です。Hi-Speed USB 2.0 デバイスは Hi-Speed USB 2.0 ポートまたはハブに接続された場合のみ、Hi-Speed USB 2.0 のパフォーマンス レベルで動作します。これ以外の場合、Hi-Speed USB 2.0 デバイスは低速の USB の転送速度で動作します。
	ドライブはコンピュータの Hi-Speed USB 2.0 ポートに接続されていますか？	ホスト バス アダプタとデバイスの両方の Hi-Speed USB 2.0 ドライバが正しくインストールされているかどうかを確認してください。不確かな場合は、ドライバをアンインストールして、再度インストールしてください。
	お使いのコンピュータまたは OS で、Hi-Speed USB 2.0 がサポートされていますか？	1.4. 最小システム要件 を参照してください。
	接続に、認定済みの Hi-Speed USB 2.0 ケーブルを使用していますか。	使用しているケーブルが適正な認定を受けているかどうかを確かめてください。LaCie ハード ディスクに付属の Hi-Speed USB 2.0 ケーブルは、出荷前に USB 規格に準拠するための試験を実施しており、適正な認定を受けています。

8.2. 指紋センサーのトラブルシューティング

LaCie Rugged Safe の指紋センサーによって認可済みユーザーと認識されない場合、次のチェックリストを確認してください。チェックリストのすべての点を確認しても、指紋センサーによって認可済みの指紋と認識されない場合、Web サイトに公開されている FAQ を参照してください。 www.lacie.jp FAQ の中から質問の回答が見つかる場合があります。また、ドライバ ページにアクセスして、最新の更新ソフトウェアを確認することもできます。

さらにサポートが必要な場合は、LaCie 販売代理店または LaCie カスタム サービスにお問い合わせください。詳しくは、「[9. カスタム サポートへのお問い合わせ](#)」を参照してください。

LaCie Rugged Safe に問題がある場合、「[8. トラブルシューティング](#)」を参照してください。

指紋センサーに問題がある場合、次のいずれかまたはすべてを試してください。

- ◆ ドライブの前面が手前に向いていることを確認します。
- ◆ 指の位置が正しいかどうか確認します。指がセンサーの表面に平らにしっかり置かれ、センサー本体を囲む金属プレートに触れていることが必要です。
- ◆ 2 番目の登録されている指を使用してみてください。
- ◆ 指を置く時間を長めにしてみます。
- ◆ センサーを乾いたティッシュか布で拭きます。
- ◆ 指の皮膚が乾燥している場合は、額や鼻に触れてから、指をセンサーに置きます。
- ◆ 指の皮膚が湿っている場合は、指をズボンやシャツの袖にこすりつけてから、指をユニットに置きます。
- ◆ ドライブを取り外してからもう一度接続します。

9. カスタマ サポートへのお問い合わせ

エレコム株式会社は、日本市場向けのLaCie製品を販売しています。本製品のテクニカルサポートおよび保証期間内の無償修理は、エレコムグループが対応いたします。

テクニカルサポートへお問い合わせになる前に

1. このマニュアルをよくお読みになり、「[トラブルシューティング](#)」を再度ご確認ください。
2. 問題点を明確にしてください。可能であればCPU上の外付けデバイスを本製品だけにして、全てのケーブルが正しくしっかりと取り付けられていることを確認してください。

「[トラブルシューティング](#)」のチェックリストに全て目を通し、問題が該当しないかを確認願います。それでも本ドライブが正常に動作しない場合は、下記のURLより窓口をご確認ください。

ラシー テクニカルサポートセンター
<http://www.lacie.jp/support/index.html>

情報	確認箇所
1. LaCie ハード ディスクのシリアル番号	デバイス背面のシール、または納品時の梱包箱にあります。
2. Macintosh/PC の機種	Mac をご使用の方 ：メニューバーの Apple アイコンをクリックし、 [この Mac について] を選択します。 Windows をご使用の方 ： [マイ コンピュータ] を右クリックし、 [プロパティ] > [全般] を選択します。
3. オペレーティングシステムのバージョン番号	
4. プロセッサの速度	
5. コンピュータ メモリ	
6. コンピュータにインストールされている内蔵および 外付け周辺機器のメーカー名とモデル名	
	Mac をご使用の方 ：Finderメニューバーのアップル アイコンをクリックし、 [この Mac について] を選択します。 [詳しい情報...] を選択します。Apple システムプロファイラが起動され、内蔵および外付け周辺機器がリストアップされます。 Windows をご使用の方 ： [マイ コンピュータ] を右クリックし、 [プロパティ] > [ハードウェア]

9.1. LaCie テクニカル サポートの連絡先

LaCie アジア http://www.lacie.com/cn/contact/	LaCie オーストラリア http://www.lacie.com/au/contact/
LaCie ベルギー http://www.lacie.com/be/contact/ (オランダ語) http://www.lacie.com/befr/contact/ (フランス語)	LaCie ブラジル http://www.lacie.com/us/contact/
LaCie カナダ http://www.lacie.com/ca/contact/ (英語) http://www.lacie.com/cafr/contact/ (フランス語)	LaCie デンマーク http://www.lacie.com/dk/contact/
LaCie フィンランド http://www.lacie.com/fi/contact/	LaCie フランス http://www.lacie.com/fr/contact/
LaCie ドイツ http://www.lacie.com/de/contact/	LaCie アイルランド http://www.lacie.com/ie/contact/
LaCie イタリア http://www.lacie.com/it/contact/	LaCie 韓国 http://www.lacie.com/kr/contact/
LaCie 中南米 http://www.lacie.com/la/contact/	LaCie オランダ http://www.lacie.com/nl/contact/
LaCie ノルウェー http://www.lacie.com/no/contact/	LaCie ポルトガル http://www.lacie.com/pt/contact/
LaCie シンガポール http://www.lacie.com/asia/contact/	LaCie 東南アジア http://www.lacie.com/sea/contact/
LaCie スペイン http://www.lacie.com/es/contact/	LaCie スウェーデン http://www.lacie.com/se/contact/
LaCie スイス http://www.lacie.com/ch/contact/ (ドイツ語) http://www.lacie.com/chfr/contact/ (フランス語) http://www.lacie.com/chit/contact/ (イタリア語)	LaCie 英国 http://www.lacie.com/uk/contact/
LaCie アメリカ合衆国 http://www.lacie.com/us/contact/ (英語) http://www.lacie.com/uses/contact/ (スペイン語)	LaCie グランド エキスポート http://www.lacie.com/intl/contact/

10. 保証について

エレコム株式会社は、日本市場向けのLaCie製品を販売しています。本製品のテクニカルサポートおよび保証期間内の無償修理は、エレコムグループが対応いたします。

■保証内容

1. 弊社が定める保証期間（本製品ご購入日から起算されます）内に適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、
無償で本製品を修理または同等製品への交換をいたします。

■無償保証範囲

2. 以下の場合には、保証対象外となります。
 - (1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
 - (2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、または本製品のご購入日が確認できる証明書（レシート・納品書など）をご提示いただけない場合。
 - (3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
 - (4) 弊社及び弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による本製品の改造、分解、修理がおこなわれている場合。
 - (5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
 - (6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
 - (7) 本製品をご購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下などにより故障した場合。
 - (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
 - (9) その他、無償修理または交換が認められない合理的な事由が発見された場合。
 - (10) 本製品を日本国外でご購入された場合。

■修理

3. 修理のご依頼は、保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
4. 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段（宅配や簡易書留など）をご利用ください。なお、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
5. 修理・もしくは同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
6. 有償、無償にかかわらず修理等により交換された本製品またはその部品等は返却いたしかねます。
7. 記憶メディア・ストレージ製品において、弊社修理センターにてドライブ交換、製品交換を実施した際には、データの保全は行わず全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願いいたします。
8. 故障とは、本製品が本製品の仕様で定める通りに機能しないことを指します。外観損傷（本製品の傷や破損）については保証対象外となりますので、外観損傷に対する修理・修繕は行いません。

■免責事項

9. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行及び不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
10. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償・復旧等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■有効範囲

11. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。日本国外ではその国の法律・規制により使用ができない、もしくは罰せられることがあります。弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

重要な情報: 保証に関するご不明点は、弊社テクニカルサポートセンターまでお問い合わせください

サポートURL

<http://www.lacie.jp/support/index.html>